

# 修了生による大学教育評価報告書

-教育内容の改善・向上を目指して-

(令和2年度・令和3年度実施)

令和5年2月

香川大学

# 目次

## 《令和2年度》

第1章 修了生による大学教育評価アンケート調査の概要	
1. 調査の目的	2
2. 調査実施期間	2
3. 調査対象	2
4. 調査内容・方法	2
＜調査資料＞	
令和2年度実施香川大学修了時アンケート用紙	3
第2章 調査結果について	
1. 全学的な視点からの分析	39
2. 研究科に関する分析	41
教育学研究科	41
法学研究科	45
経済学研究科	46
医学系研究科	48
工学研究科	53
農学研究科	56
地域マネジメント研究科	59

## 《令和3年度》

第1章 修了生による大学教育評価アンケート調査の概要	
1. 調査の目的	61
2. 調査実施期間	61
3. 調査対象	61
4. 調査内容・方法	61
＜調査資料＞	
令和3年度実施香川大学修了時アンケート用紙	62
第2章 調査結果について	
1. 全学的な視点からの分析	102
2. 研究科に関する分析	104
教育学研究科	104
法学研究科	108
経済学研究科	109
医学系研究科	111
工学研究科・博士前期課程	117
工学研究科・博士後期課程	122
農学研究科	127
地域マネジメント研究科	130

《令和2年度》

## 第1章 修了生による大学教育評価アンケート調査の概要

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することにより、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 令和2年6月30日（火）～令和3年3月31日（水）
3. 調査対象 令和2年度修了生 251人 回答数は221人 回収率88%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、教学IR部で審議決定した。  
アンケート調査業務について、アンケート作成及び実施後の取りまとめは教育企画課が統括し、アンケートの配布・回収などは各研究科で実施した。

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

教育学研究科 修士課程・専門職学位課程 ( 専攻) 令和 年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

## 問 12-1. [学校教育専攻、教科教育専攻の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				今後の仕事に			
	満足	ある程度満足	やや不満	不満	役立つと思う	ある程度役立つと思う	あまり役立たないと思う	役立たないと思う
共通科目 学校教育総論、教育実践事例研究、等	4	3	2	1	4	3	2	1
専攻科目 所属分野に関する科目・コース科目	4	3	2	1	4	3	2	1
修士論文	4	3	2	1	4	3	2	1

## 問 12-2. [学校臨床心理専攻の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				今後の仕事に			
	満足	ある程度満足	やや不満	不満	役立つと思う	ある程度役立つと思う	あまり役立たないと思う	役立たないと思う
専攻科目 学校臨床心理に関する科目	4	3	2	1	4	3	2	1
修士論文	4	3	2	1	4	3	2	1

## 問 12-3. [高度教職実践専攻（教職大学院）の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				今後の仕事に			
	満足	ある程度満足	やや不満	不満	役立つと思う	ある程度役立つと思う	あまり役立たないと思う	役立たないと思う
共通科目	4	3	2	1	4	3	2	1
コース科目	4	3	2	1	4	3	2	1
実習科目 教職実践研究を含む	4	3	2	1	4	3	2	1

質問 13. 教育学研究科に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	あまり満足していなかった	不満だった
学修や研究のための図書や情報の充実	4	3	2	1
講義室、演習室、実験室、自習室等の学修・研究環境	4	3	2	1
学修や進路等の相談で教員と接する機会	4	3	2	1
教育現場での実習	4	3	2	1
研究成果の発表	4	3	2	1

◆教育学研究科のカリキュラムや学修・研究環境等について、良かった点、不満だった点、継続すべき点、改善すべき点など、自由にご意見をお書きください。

質問 14. 修学上の特例（長期履修学生制度、短期履修学生制度、小学校教員免許取得コース）についてお尋ねします。

(1)あなたは、「修学上の特例」を利用しましたか。

利用した       利用しなかった

利用した方にお尋ねします。

①利用した制度やコースに○をつけてください。

長期履修学生制度、 短期履修学生制度、 小学校教員免許取得コース

②利用した制度やコースにどの程度満足しましたか。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. あまり満足していない    1. 満足していない

理由：( \_\_\_\_\_ )

問 15. 総合的にみて、教育学研究科で学んだことに満足していますか。また、その理由もお書きください。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. あまり満足していない    1. 満足していない

理由：( \_\_\_\_\_ )

ご協力ありがとうございました。



## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

法学研究科法律学専攻      令和      年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいな場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上      2. 26-30時間      3. 21-25時間      4. 16-20時間  
5. 11-15時間      6. 6-10時間      7. 1-5時間      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 12. 差し支えなければ、あなたの履修していた演習科目を教えてください。

質問 13. あなたは、どのような理由で法学研究科に進学しましたか。もっとも当てはまるもの一つを選んでください。

1. 当時、就いていた職業において必要な知識や能力を得たかったから
2. 当時、目指していた職業や資格に必要な知識や能力を得たかったから
3. 博士課程への進学を目指していたから
4. 職業や資格とは関係なく、法学・政治学を深く学びたかったから
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

質問 14. あなたの出身大学、出身学部について、当てはまるものを一つを選んでください。

<出身大学について>

1. 香川大学を卒業した
2. 香川大学の以外の大学を卒業した

<出身学部について>

1. 法学部を卒業した
2. 法学部以外の学部を卒業した

※ 2 を選ばれた方は、差し支えなければ、卒業した学部を教えてください。

（ \_\_\_\_\_ 学部）

質問 15. 法学研究科で開講されていた授業の数や種類は十分でしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 16. 全般的に、法学研究科で開講されていた授業の内容は満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 17. 法学研究科における授業の内容や方法について、不満に思ったことがあれば、教えてください。

質問 18-1. 開講されていたら受講したかったという授業はありますか（担当者が不在等の理由で休講になっていた授業科目は除いてお考えください）。以下の中から、当てはまるものをすべて選んでください。

1. 研究方法に関する授業
2. 実務に関するする授業
3. 資格試験対策のための授業
4. 専門以外の教養を高める授業
5. その他
6. 特にない

質問 18-2. 5「その他」を選ばれた方は、どのような授業科目か、お答えください。

質問 19-1. 法学研究科では、ほとんどの授業で少人数教育を実施していますが、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 19-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 20-1. 法学研究科では社会人学生（有職者や職業経験を有する学生）と一般学生（学部卒業後、すぐに大学院に進学した学生）が混在していますが、そのような環境は、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 20-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 21. 教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 22. 学内の施設（図書館や法学資料室、学内で利用できる判例検索システムなど）で、研究や学習に必要な文献・資料等の収集は十分にできましたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 23. 学内の設備や施設に関して不満に思っていたことがあれば、教えてください。

質問 24-1. 長期履修制度（3年間で修士の学位取得を目指す制度）を利用していた方に伺います。あなたは、長期履修制度を利用して良かったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 24-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 25. 差し支えなければ、現在のあなたのご職業を教えてください。

質問 26. 法学研究科修了後、現在のご職業とは違うご職業に就く予定がある方は、差し支えなければ、そのご職業を教えてください。

質問 27-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の職業生活において求められる知識や能力を得る上で有益でしたか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 27-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 28-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の（職業に関することは別に）社会生活において有益であると思われますか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 28-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 29. 法学研究科で受講した授業で、職業生活や社会生活において有益だったと思う科目を挙げてください。（幾つ挙げても構いません。また、理由もお書き添えください。）

質問 30. 法学研究科での研究・学習全般について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。長時間にわたってご協力くださり、ありがとうございました。

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

経済学研究科経済学専攻      令和      年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい      2. いいえ      3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上      2. 26-30時間      3. 21-25時間      4. 16-20時間  
5. 11-15時間      6. 6-10時間      7. 1-5時間      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点が

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

【以下の質問では、経済学研究科の授業科目についてお伺いいたします。】

質問 12. 今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【 】内に記号でご記入下さい。

【 】【 】【 】【 】【 】【 】

＜教育分野＞

- A. 理論経済学      B. 経済史              C. 経済政策          D. 財政学
- E. 社会政策          F. 金融論              G. 統計学              H. 経営学
- I. 商学                  J. 会計学              K. 社会文化論
- L. 言語科学          M. その他（外国書講読）

\*以下の質問項目では、左欄の【 】にあなたが受講した教育分野の記号を記入し、その教育分野に対する評価について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つずつお付け下さい。

SQ1. 上の質問9で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない
【 】	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

SQ2. 上の質問9で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない
【 】	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1



SQ3. 上の質問9で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。

	大いに 思う	やや 思う	どちらとも 言えない	あまり 思う	全く 思う		大いに 思う	やや 思う	どちらとも 言えない	あまり 思う	全く 思う
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【 】	→					【 】	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【 】	→					【 】	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【 】	→					【 】	→				

SQ4. 上の質問9で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。

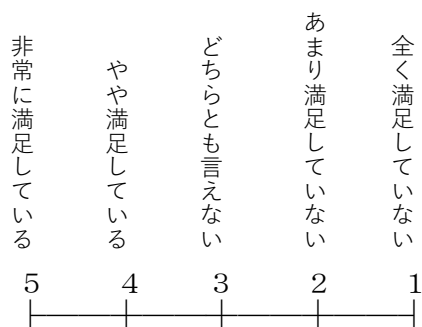
	非常に 満足 している	やや 満足 している	どちらとも 言えない	あまり 満足 して いない	全く 満足 して いない		非常に 満足 している	やや 満足 している	どちらとも 言えない	あまり 満足 して いない	全く 満足 して いない
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【 】	→					【 】	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【 】	→					【 】	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【 】	→					【 】	→				

SQ5. 受講した授業科目のなかで、とくによいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ6. 受講した授業科目のなかで、とくに改善してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科での演習についてお伺いいたします。】

質問 13. 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つお付け下さい。



SQ1. 副演習を履修していますか。  
 A. 履修している                      B. 履修していない

SQ2. 演習指導についてとくに改善点してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科のカリキュラム、その他全般についてお伺いいたします。】

質問 14. 授業科目のなかで、取り上げてほしい分野等があれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ1. 時間割上で、何か問題があると感じたことはありませんか。もし問題があるようであれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ2. カリキュラム、設備、そのほかのことについて、何か要望はありませんか。どのようなことでも結構ですので、要望や改善点がありましたら、下の枠内にご記入下さい。忌憚のないご意見をお願いいたします。

質問 15. 最後に、あなたご自身についてお伺いいたします。それぞれの質問について、当てはまる記号に○を1つずつお付け下さい。

1. あなたの所属コースは    A. 分野別コース    B. フレックスコース

2. あなたの学年は            A. 1年            B. 2年            C. 3年以上

3. あなたは留学生ですか    A. はい            B. いいえ

\*\*\*\*\* たくさんの質問にご協力いただき、ありがとうございました \*\*\*\*\*

## 香川大学大学院修士生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

医学系研究科                      課程（                      専攻）                      年                      月修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いに思う    2. やや思う    3. あまり思わない    4. 全く思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 12. 全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

質問 13. 大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

質問 14. 大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(博士課程：質問 15)

質問 15. 大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(修士課程：質問 16)

質問 16. 大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

質問 17. 研究科独自の自由記述欄

(1) 大学院での教育・研究の実績を今後どのように生かそうと考えていますか。

(2) 大学院での教育・研究において、改善すべき点、良かった点を記載ください。

[改善すべき点]

[良かった点]

(3) 自由記述欄

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

工学研究科 博士前期（修士）課程 令和 年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。



以下は工学研究科独自の質問項目になります。上記と似た内容の質問についても、改めてお答えください。

質 12. あなたが所属している専攻について、あてはまる番号に○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 安全システム建設工学専攻 | 2. 信頼性情報システム工学専攻 |
| 3. 知能機械システム工学専攻 | 4. 材料創造工学専攻      |

(I. 研究について)

質問 13. あなたの研究活動は充実していましたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問 14. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問 15. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問 16. あなたは、TA で大学院生が講義をサポートすることをどのように考えていますか。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 非常によい        | 2. どちらかと言えばよい |
| 3. どちらかと言えばよくない | 4. よくない       |

質問 17. あなたの大学院での学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	日常的に した	たまにし た	あまりし なかった	しなかつ た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) 文献を読む	1	2	3	4
3) 新聞を読む	1	2	3	4
4) 研究の計画を立てる	1	2	3	4
5) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
6) 論文や報告書を作成する	1	2	3	4
7) ボランティア活動を行う	1	2	3	4
8) 学会活動を行なう	1	2	3	4

## (Ⅱ. 教育について)

質問 18. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	身についた	やや身についた	あまり身につかなかった	身につかなかった
1) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
2) 専門分野の高度な知識	1	2	3	4
3) 数学, 自然科学の深い知識	1	2	3	4
4) 探究心を持つ力	1	2	3	4
5) ものごとの課題を発見し、解決する力	1	2	3	4
6) 社会問題の理解力	1	2	3	4
7) 英語の力	1	2	3	4
8) チームワークの力	1	2	3	4

質問 19. あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。下記の項目で、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1) 大学院で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役に立つ	1	2	3	4
2) 大学院を修了すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
3) 大学院で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

質問 20. あなたは、履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか。

1. 非常にまじめに検討した
2. 少しはまじめに検討した
3. あまりまじめに検討しなかった
4. 全く検討しなかった

質問 21. 1日に平均してどのくらい自学・自習（予習・復習・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

質問 22. 1日に平均してどのくらい研究（実験・解析・ディスカッション・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

質問 23. あなたは、インターンシップ・体験学習等を体験しましたか。

1. はい
2. いいえ

## (Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など)

質問 24. あなたは、授業科目を選択する際に、シラバスをどの程度参考にしましたか。

1. 十分に参考にした
2. まあまあ参考にした
3. あまり参考にしなかった
4. 全く参考にしなかった

質問 25. 教員は成績評価の参考にしたデータ（平常点やレポート、テスト結果など）をフィードバック（伝達・返却など）していましたか。

1. ほとんどの授業ではしっかりしていた
2. いくつかの授業ではしっかりしていた
3. した授業もあったが、しなかった授業の方が多かった
4. しなかった授業ばかりだった

質問 26. 教員の単位認定（成績評価）の仕方は、信頼できましたか。

1. ほとんどの授業ではしっかりしていた
2. いくつかの授業ではしっかりしていた
3. した授業もあったが、しなかった授業の方が多かった
4. しなかった授業ばかりだった

## (Ⅳ. 進路について)

質問 27. あなたの進路決定に際して、経済的問題の影響はありましたか。

1. はい
2. いいえ

質問 28. あなたは修了後、どのような進路に進みますか。

1. 民間企業に就職する
2. 公務員や教員として就職する
3. 自営業や家業を継ぐ
4. 大学院に進学する
5. 他大学に（編）入学する
6. 専門学校に進学する
7. まだわからない
8. その他（具体的に

質問 29. あなたが修了後の進路を決定し、行動を始めたのはいつですか。

1. 大学院入学前
2. 1年生前期
3. 1年生後期
4. 2年生前期
5. 2年生後期
6. その他

質問 30. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどれくらい重要視しましたか。

	重要であった	やや重要であった	あまり重要でなかった	重要でなかった
1) 大学院で学んだことが生かせること	1	2	3	4
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4
6) 会社の知名度	1	2	3	4
7) 会社の行動・考えかた（法令遵守や地球環境貢献）	1	2	3	4
8) 福利厚生が充実していること	1	2	3	4
9) 個人の時間が確保できること	1	2	3	4
10) 親や知人の推薦・評判	1	2	3	4

質問 31. あなたは、どのように会社情報を入手したり、就職に向けての努力をしたりしましたか。  
(複数回答可)

1. 就職（進路）資料室等で資料を調べた
2. インターネットや雑誌などで会社や求人情報などを調べた
3. 就職説明会などに参加した
4. 就職活動について、先輩に話を聞いたり、友人と情報交換をした
5. 修了後の進路について教員に相談した
6. 修了後の進路についてキャリア支援センターおよび学科の就職担当等に相談した
7. 修了後の進路について親等に相談した
8. 就職や進学に役立ちそうな資格を取得した（勉強した）
9. 修了後のために専門学校などに通った
10. その他

#### (V. その他)

質問 32. あなたは大学院に入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか（複数回答可）。

1. マルチ商法、悪徳販売による被害
2. アルバイト先での賃金未払いや不当解雇の被害
3. セクハラ、ストーカー等の性的犯罪
4. アカハラ、パワハラなどの嫌がらせ行為
5. 学内での窃盗
6. けんか等の暴行
7. アルコールの痛飲による急性アルコール中毒
8. その他
9. 被害にあったことがない

質問 33. 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良かった」、「楽しかった」と感じるなど、満足していますか。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満   | 4. 不満       |

質問 34. あなたの保護者は、あなたの本大学院での修学生活に満足していると思いますか。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 満足していると思う | 2. やや満足していると思う |
| 3. やや不満だと思う  | 4. 不満だと思う      |

質問 35. 授業や教育に関する要望、あるいは改善へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

農学研究科                      課程（                      専攻）                      令和                      年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上                      2. 26－30時間                      3. 21－25時間                      4. 16－20時間  
5. 11－15時間                      6. 6－10時間                      7. 1－5時間                      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 12. 農学研究科の教育・研究は、以下に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

	大いにそう 思う	そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
研究開発マインドの習得	5	4	3	2	1
高度専門職業人となるための幅広い知識の習得	5	4	3	2	1
自ら立案する課題設定能力	5	4	3	2	1
課題を解決するために必要な情報の収集能力	5	4	3	2	1
課題を解決するための手法の探索と遂行能力	5	4	3	2	1
得られた結果に基づいた解析能力	5	4	3	2	1
課題の全容を論理的に取りまとめる能力	5	4	3	2	1
日本語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
英語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
日本語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
英語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
グローバルマインドの習得	5	4	3	2	1

質問 13. 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？

	充実していた	ある程度 充実していた	やや充実して いなかった	充実して いなかった
基礎科目 (科学研究リテラシー, ベーシック国際研究コミュニケーション, 応用生物科学クロストークセミナー)	4	3	2	1
希少糖共通科目 (希少糖イノベーション, 希少糖植物化学特論, 希少糖応用生命科学特論, 希少糖食品科学特論)	4	3	2	1
展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー, 国際研究実践コミュニケーション, 修士・修士国際インターンシップ, アドバンスド国際研究コミュニケーション)	4	3	2	1
専門科目 (○○特論など)	4	3	2	1
専門科目 (専攻セミナーI~III)	4	3	2	1
研究科目 (修士研究I~IV, 論文修士)	4	3	2	1
研究科目 (国際研究A・B) *研究留学	4	3	2	1
研究科目 (実践研究) *社会人学生	4	3	2	1

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

地域マネジメント研究科 専門職学位課程 令和 年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間



問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。





質問 25. 地マネ PC ルームに導入してほしい機器や PC にインストールしてほしいアプリケーションがあればお答えください。

( )

質問 26. オンラインでの受講状況について、以下から該当するものを 1 つ選んでください。

1. 授業は主に対面で受講した。
2. 授業は主に対面で受講したが、事情に応じてオンラインで受講することもあった。
3. 授業は主にオンラインで受講した。
4. 授業は主にオンラインで受講したが、事情に応じて対面で受講することもあった。
5. その他 ( )

質問 27. オンラインでの授業科目や受講についてお尋ねします。以下の各項目について該当するものを 1 つ選んで下さい。

	分からない	そう思わない	どちらかという そう思わない	どちらかという そう思う	そう思う
1. 問題なくオンラインで受講できた。	0	1	2	3	4
2. オンラインで受講する力が身についた。	0	1	2	3	4
3. オンラインの授業におおきた満足している。	0	1	2	3	4
4. コロナ感染症が終息した後もオンラインの授業は必要である。	0	1	2	3	4
5. 本研究科の授業は対面で受講する方がよい。	0	1	2	3	4

質問 28. オンラインでの授業科目や受講そのものについて、自由にお書き下さい。

## II. 在学当時の支援関係についてお尋ねします。

質問 29. 社会人学生だった方にお尋ねします。あなたは所属組織から入学・勉学について支援を受けましたか。

1. 受けた (内容: )
2. 受けていない

質問 30. 社会人学生だった方にお尋ねします。あなたは奨学金など所属組織以外からの援助を受けましたか。

1. 受けた (内容: )
2. 受けていない

質問 31. 学部からの進学生だった方にお尋ねします。あなたは就職についての地域マネジメント研究科の対応に満足していますか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

**Ⅲ. 修了時の効果についてお尋ねします。**

質問 32. 以下に示すさまざまな能力は、大学院教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。それぞれお答えください。

	大学院教育で					現在の仕事で			
	入学時に既に身につけていた	身につけていない	あまり身につけていない	ある程度身につけた	身につけた	必要ない	あまり必要ない	ある程度必要	必要
物事に進んで取り組む力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
他人に働きかけ巻き込む力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
目標を設定し確実に行動する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
地域や社会の現状を分析し、課題を明らかにする力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
俯瞰的、全体的に組織や事象を把握する能力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
知識を課題解決に応用する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
複眼的な政策・戦略を立案する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
戦略や政策を実行する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
新しい価値を生み出す力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
汎用的なモデルを構築する力（ビジネス・モデル、概念モデル等）	0	1	2	3	4	1	2	3	4
自分の意見をわかりやすく伝える力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
相手の意見を丁寧に聴く力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
意見の違いや立場の違いを理解する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
ストレスの発生源に対応する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
幅広い知識や教養	0	1	2	3	4	1	2	3	4
専門分野に関する知識や技能	0	1	2	3	4	1	2	3	4
論理的に考え、物事を進める力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
文書等を作成する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
ディスカッションする力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
プレゼンテーションする力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
リーダーシップ	0	1	2	3	4	1	2	3	4
地域に貢献する力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
地域や社会の特性や魅力を見出す力	0	1	2	3	4	1	2	3	4
倫理観・社会的責任	0	1	2	3	4	1	2	3	4
グローバルな視点	0	1	2	3	4	1	2	3	4

質問 33. 地域マネジメント研究科に入学する以前、あなたは地域や社会に関心をもっていましたか。

1. 入学以前から地域や社会について高い関心をもっていた
2. 入学以前から地域や社会について関心をもっていた
3. 入学以前は地域や社会についてあまり関心をもっていなかった
4. 入学以前は地域や社会について全く関心をもっていなかった

質問 34. 地域マネジメント研究科に入学後、地域や社会への関心に変化がありましたか。

1. 関心が高まった
2. 関心に変化はなかった
3. 関心が下がった

質問 35. あなたは地域マネジメント研究科で人的なネットワークを構築できましたか。

1. 非常にできた
2. ある程度できた
3. どちらともいえない
4. あまりできなかった
5. 全くできなかった

質問 36. 総合的にみて、あなたは地域マネジメント研究科で学んだことに満足していますか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

質問 37. あなたは地域マネジメント研究科に愛着がありますか。

1. 非常にある
2. ある程度ある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. 全くない

質問 38. 地域マネジメント研究科のカリキュラム等について自由に意見を記入して下さい。

#### IV. 現在の状況についてお尋ねします。

質問 39. 能力向上のため、何か自己研修を行っていますか。

1. 行っている (内容 : \_\_\_\_\_ )
2. 予定している (内容 : \_\_\_\_\_ )
3. ない

質問 40. 個人あるいはグループで地域のために何か活動を行っていますか。

1. ある (内容 : \_\_\_\_\_ )
2. 予定している (内容 : \_\_\_\_\_ )
3. ない

質問 41. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムなどに参加しようと思いませんか。

1. 思う
2. 思わない

質問 42. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムはどのような形がよいと思いませんか。

1. 一般公開
2. 在学生・修了生のみ対象
3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 43. 地域マネジメント研究科に、後期（10月）入学が必要であると思いますか。

1. 非常に必要                      2. ある程度必要                      3. どちらともいえない  
4. あまり必要でない              5. 全く必要ない

（理由 \_\_\_\_\_）

**V. 香川大学、あるいは地域マネジメント研究科についてお尋ねします。**

質問 44. 香川大学、あるいは地域マネジメント研究科がもっと重視したり改善したりした方が良いと思う教育内容や取り組み、要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

**VI. あなた自身についてお尋ねします。**

質問 45. 地域マネジメント研究科入学年及び入学時の年齢について

西暦（ \_\_\_\_\_ ）年入学      （ \_\_\_\_\_ ）才

質問 46. 地域マネジメント研究科入学時の自宅所在地及び勤務地（都道府県名・市町村名）について

自宅所在地：（ \_\_\_\_\_ ）都・道・府・県      （ \_\_\_\_\_ ）市・町・村

勤務地：（ \_\_\_\_\_ ）都・道・府・県      （ \_\_\_\_\_ ）市・町・村

質問 47. 地域マネジメント研究科入学時の就業状況について

1. 正規雇用で働いていた → 質問 48. へお進みください。  
2. 非正規雇用で働いていた（派遣社員、アルバイト等を含む） → 質問 48. へお進みください。  
3. 働いていない → 質問 50. へお進みください。

質問 48. 地域マネジメント研究科入学時の職種について

1. 農林   2. 水産関係   3. 建設   4. 機械関係   5. 食品   6. 化学関係   7. 情報・通信関係  
8. 商社   9. 金融関係   10. 販売   11. サービス関係   12. マスコミ・出版関係  
13. 保健・衛生・医療関係      14. 公務員（国・地方自治体）      15. 教育関係  
16. その他（ \_\_\_\_\_ ）

質問 49. 地域マネジメント研究科入学時の役職について

（ \_\_\_\_\_ ）

質問 50. 現在の就業状況について

1. 正規雇用で働いている → 質問 51. へお進みください。  
2. 非正規雇用で働いている（派遣社員、アルバイト等を含む） → 質問 51. へお進みください。  
3. 働いていない

質問 51. 現在の職種について

1. 農林 2. 水産関係 3. 建設 4. 機械関係 5. 食品 6. 化学関係 7. 情報・通信関係  
8. 商社 9. 金融関係 10. 販売 11. サービス関係 12. マスコミ・出版関係  
13. 保健・衛生・医療関係 14. 公務員(国・地方自治体) 15. 教育関係  
16. その他( )

質問 52. 現在の役職について

( \_\_\_\_\_ )

以上です。ご協力大変ありがとうございました。



## 第2章 調査結果について

### 1. 全学的な視点からの分析

#### (1) 分析結果

第一に、社会人学生についてである。「あなたは社会人学生ですか」（質問1）という質問に対し、32.6%が社会人学生であると回答した。

第二に、修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に対する修了生自身の評価である。「高度な専門知識の理解・修得」（質問2）、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」（質問3）、「倫理観や社会的責任の修得」（質問4）、そして「国際的視野を広げる」（質問5）、に関して大学院の教育・研究は有用だったかという質問に対し、質問2と3については約95%が、質問4については約90%が、そして質問5については約80%が、そう思うと回答した。

第三に、大学院の教育・研究に関する制度や環境に対する修了生の評価である。まず、「大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムが十分整っていたか」（質問6）については、大いにそう思うが29.0%、ややそう思うが53.8%、あまりそう思わないが14.0%であった。つぎに、主指導教員（質問7）と副指導教員（質問8）の指導は十分だったかについては、質問7は約95%が、質問8は約90%が、そう思うと回答した。なお、副指導教員がいない学生もいるため、質問8の割合は副指導教員がいる学生のみで算出した場合の割合である。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

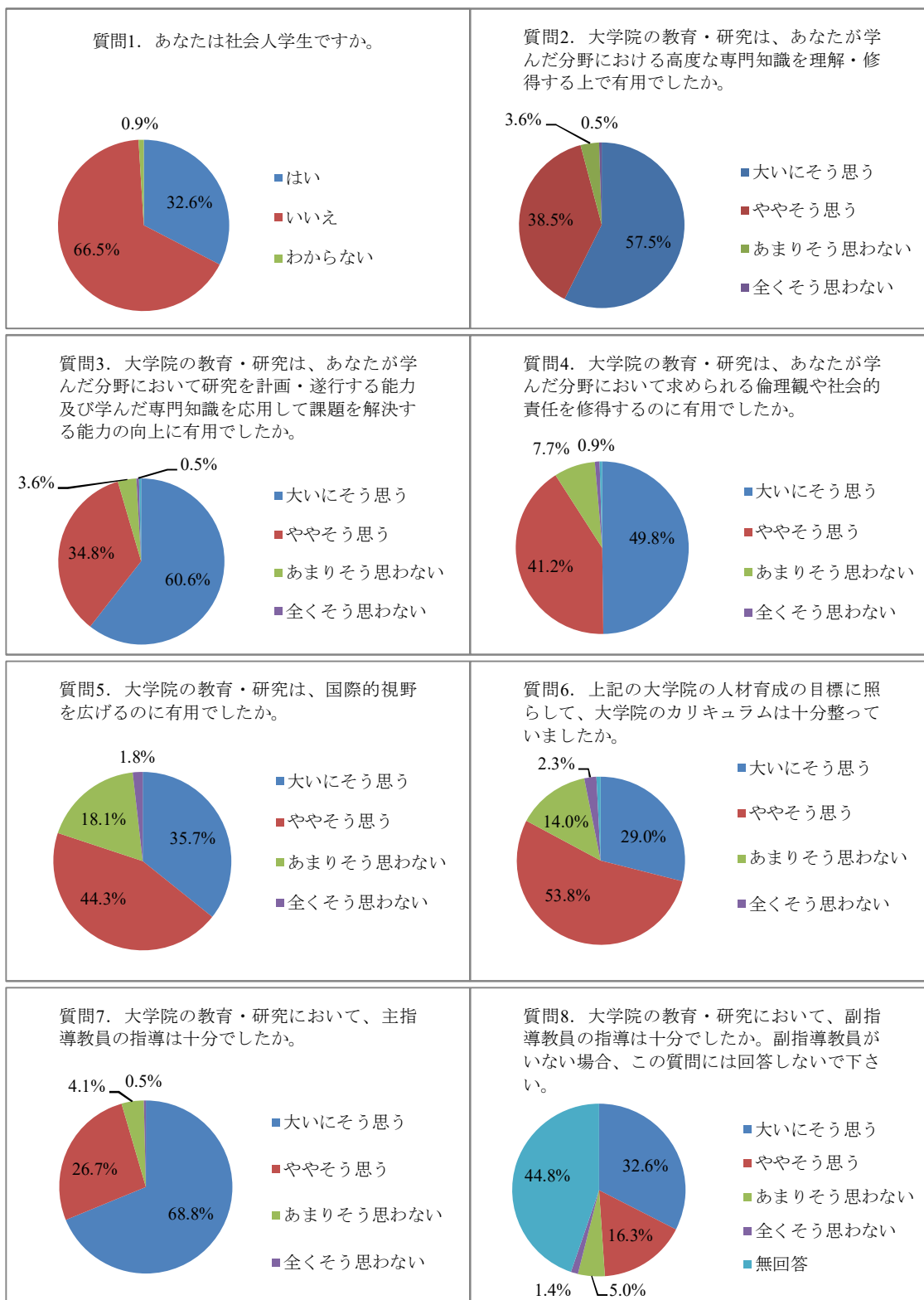
##### 【優れた点】

まず、「高度な専門知識の理解・修得」、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」、「倫理観や社会的責任の修得」に対して、大学院の教育・研究は有用であるといえる。このことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーを構成する4つの要素（①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインド）のうち、3つ（①、②、③）については、修了生から十分な評価が得られているといえる。次に、主指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られている。これらの内容はすべて、平成30年度と令和元年度と同様に令和2年度も優れていたといえる。

##### 【改善を要する点】

優れた点として、副指導教員による学生の指導を挙げた。しかし、平成30年度より副指導教員による学生の指導は十分に評価されている一方で、副指導教員がいない学生の割合が約40%であるという状況が続いており、副指導教員がいない学生の割合が相対的に大きい研究科は法学研究科、工学研究科、教育学研究科である。第3期中期計画では「学生への個別指導を強化して教育研究の質を向上させるため、他分野や他研究科の教員を含む複数の教員の指導を受けられる主・副指導教員体制を強化する」という内容がある。各研究科における主・副指導教員体制についての方針を考慮しつつ、引き続き、主・副指導教員体制を実施している場合はそれをさらに充実させ、主・副指導教員体制をとっていない場合はそれを実施することが大学院教育の更なる改善につながるのではないだろうか。

【参考資料】



## 2. 研究科に関する分析

### 教育学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年3月24日

\*\*\*\*\*

#### 1. 研究科に関する分析

##### (1) 分析結果

教育学研究科は、令和2年度に教科領域を含む拡充した教職大学院へと移行し、それに伴い修士課程の募集を停止した。令和2年度修了生に対する研究科独自のアンケートは、修士課程の修了生22名(学校教育専攻9名、教科教育専攻12名、学校臨床心理専攻1名)、高度教職実践専攻(教職大学院)の修了生14名に対して実施した。回答者数は23名(修士課程19名、教職大学院4名)であった。

研究科独自の質問項目は、4つのカテゴリーに分けることができる。専門科目について、どの程度満足していたか、また今後の仕事の中でどの程度役立つと思うかを尋ねた質問12、教育学研究科に在学中、学修や研究のための図書や情報、学修・研究環境、教員と接する機会、教育現場での実習、研究成果の発表についてどの程度満足していたかを尋ねた質問13、修学上の特例(長期履修学生制度、短期履修学生制度、小学校教員免許取得コース)の利用状況と満足度について尋ねた質問14、そして教育学研究科の学びの総合的な満足度を尋ねた質問15である。これらの質問について、4段階評価による平均値(満足度については「不満」を1点、「やや不満」を2点、「ある程度満足」を3点、「満足」を4点とする加重平均、有益度については「役立たない」を1点、「あまり役立たない」を2点、「ある程度役立つ」を3点、「役立つ」を4点とする加重平均)を算出したところ、質問13の1項目(学修や研究のための図書や情報の充実)を除いて平均値はいずれも3.0以上であった。とくに総合的な満足度の平均値は3.74(とても満足している14名、ある程度満足している5名、未回答4名)という高い数値であった。

##### (2) 優れた点及び改善を要する点

###### 【優れた点】

専門科目の満足度と有益度に関して、加重平均値がとくに高いのは、修士課程の専攻科目(満足度3.61、有益度3.61)と修士論文(満足度3.56、有益度3.61)、教職大学院の共通科目(満足度3.75、有益度3.75)とコース科目(満足度3.75、有益度3.75)である。2つめのカテゴリーの質問項目に関して、加重平均値が最も高いのは「学修や進路等の相談で教員と接する機会」の3.70である。学修・研究環境、教育現場での実習、研究成果の発表の項目も3.0を超えている。「修学上の特例」を利用した回答者7名のうち、利用した制度やコースに「満足している」と回答した者が4名、「ある程度満足している」と回答した者が3名であった。教育学研究科の「修学上の特例」がよく機能していることが分かる。「総合的にみて、教育学研究科で学んだことに満足していますか」を問うた質問15についても、加点平均値は3.74という非常に高い数値になっている。

### 【改善を要する点】

すべての質問項目を通して、平均値が最も低かったのは、2つめのカテゴリーの「学修や研究のための図書や情報の充実」の満足度についての回答（平均値 2.90）であった。加重平均が 3.0 を下回ったのは、この質問項目のみである。今後、教育学研究科は高度教職実践専攻（教職大学院）に特化することになるで、教職及び教科関連図書の充実はもとより学校教員の I C T活用指導力の強化のための学修環境の整備が急がれる。

## 【参考資料】

### 研究科独自の質問項目

問12-1. [学校教育専攻、教科教育専攻の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
共通科目	7	11	0	0	0	18	3.39
専攻科目	11	7	0	0	0	18	3.61
修士論文	12	4	2	0	0	18	3.56

また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。

	4. 役立つと思う	3. ある程度役立つと思う	2. あまり役立つたないと思う	1. 役立つたないと思う	未回答	計	平均
共通科目	11	6	1	0	0	18	3.56
専攻科目	11	7	0	0	0	18	3.61
修士論文	12	6	0	0	0	18	3.67

問12-2. [学校臨床心理専攻の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
専攻科目	1	0	0	0	0	1	4.00
修士論文	1	0	0	0	0	1	4.00

今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。

	4. 役立つと思う	3. ある程度役立つと思う	2. あまり役立つたないと思う	1. 役立つたないと思う	未回答	計	平均
専攻科目	0	0	0	0	1	1	0.00
修士論文	0	0	0	0	1	1	0.00

問12-3. [高度教職実践専攻(教職大学院)の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
共通科目	3	1	0	0	0	4	3.75
コース科目	3	1	0	0	0	4	3.75
実習科目	2	1	0	0	1	4	3.67

今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。

	4. 役立つと思う	3. ある程度役立つと思う	2. あまり役立つたないと思う	1. 役立つたないと思う	未回答	計	平均
共通科目	3	1	0	0	0	4	3.75
コース科目	3	1	0	0	0	4	3.75
実習科目	2	1	0	0	1	4	3.67

質問13. 教育学研究科に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	4. 満足していた	3. ある程度満足していた	2. あまり満足していなかった	1. 不満だった	未回答	計	平均
学修や研究のための図書や情報の充実	6	8	6	1	2	23	2.90
講義室、演習室、実験室、自習室等の学修・研究環境	12	4	4	1	2	23	3.29
学修や進路等の相談で教員と接する機会	15	4	1	0	3	23	3.70
教育現場での実習	8	4	4	0	7	23	3.25
研究成果の発表	10	6	3	1	3	23	3.25

◆教育学研究科のカリキュラムや学修・研究環境等について、良かった点、不満だった点、継続すべき点、改善すべき点など、自由にご意見をお書きください。

とくに科目によって話し合いの時間が設けられており、他の人の意見をきく機会があり、それが良かったです。
院生室を用意して下さっていたのがとてもよかった。仲間と集うことができ快適で作業に集中できる。
公開発表会で、発表者以外の先鋭・学生が参加しないのは、意味をなしていないと思う。また要旨集が平成30年度？最新のものを閲覧できなかったのも、いつでも見られるようにしてほしい。
保健体育専門の教員の方々は、素晴らしい方が多く、講義もとても充実していた。
特になし
図書館の蔵書が少ないし、読みたいものは研究室管理が多かった。結局岡山県立図書館に頼らざるを得なかった。
講義内容が重なっているものもあったが、多角的な見方・考え方ができる機会になったので良かった。

質問14. 修学上の特例（長期履修学生制度、短期履修学生制度、小学校教員免許取得コース）についてお尋ねします。

(1)あなたは、「修学上の特例」を利用しましたか。

利用した	利用しなかった	未回答	計
7	12	4	23

①利用した制度やコース

長期履修学生制度	短期履修学生制度	小学校教員免許取得コース	計
3	4	0	7

②利用した制度やコースにどの程度満足しましたか。

4. 満足している	3. ある程度満足している	2. あまり満足していない	1. 満足していない	未回答	計	平均
4	3	0	0	0	7	3.57

理由

仕事との両立に役に立ちました。
本当は2年間じっくり学びたかった。
短期で大変な面もあったが、学校現場を離れる期間も短くてすみよかった。

問15. 総合的にみて、教育学研究科で学んだことに満足していますか。

4. 満足している	3. ある程度満足している	2. あまり満足していない	1. 満足していない	未回答	計	平均
14	5	0	0	4	23	3.74

理由

充実した毎日でした。
広い視野が得られた。
時間に余裕があったのがよい。教育実習以外で実践に携わる機会がほしかった。
今後の役に立ちそう。
自分の未熟さを知れたから
大学院だけでなく、附属校でも勤務させていただき、とても充実した2年間でした。ありがとうございました。
学部卒の時から院に行ってみたいと思っていたから
オンラインと対面の両方を研究し、対面のよさを感じるほど、オンラインの学びの深まりの限界も実感した。
思った以上に先生方から熱心に指導していただき深まりのある学修ができたと感じました。

## 法学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年3月24日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

第一に、修了生の特徴である。修了生全員が演習科目として税法を履修しており（質問12）、法学研究科へ進学した目的は職業上の知識や能力の修得のためであった（質問13）。また、修了生のうち本学出身者は4名中3名であるものの、法学部出身者は1名のみであった（質問14）。

第二に、授業への評価である。法学研究科で開講されていた授業の数や種類、およびその内容等については、ネガティブな回答は見られなかった（質問15、16、17）。

第三に、法学研究科の特徴である少人数教育および社会人学生と一般学生の混在の有益性については、いずれも4名中33名が「大いにそう思う」と答え、残りの1名が「ややそう思う」と答えている（質問19、20）。

第四に、学内の設備や施設についてである。教室や教育のための設備の満足度については、ネガティブな回答は見られなかったが（質問21）、学内の施設については、図書館や資料室の利用時間等への不満が見られた（質問22、23）。

第五に、法学研究科での教育・研究の修了後の生活への影響である。法学研究科での教育・研究の、その後の職業生活およびそれ以外の社会生活における有益性については、全ての回答が「大いにそう思う」ないし「ややそう思う」であった（質問27、28）。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

法学研究科の特徴である少人数教育および社会人教育については、修了生から十分な評価が得られているといえる。これについては、平成30年度および令和元年度についても同様であった。

##### 【改善を要する点】

学内の施設について、図書館や資料室の利用時間等への不満が見られたので、利用時間の延長等の改善の余地がある。もっとも、この要因には、コロナ禍の影響もあるものと考えられる。

## 経済学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年3月24日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

主指導教員の指導に対する満足度（研究科独自質問項目の質問 13）については、ほとんどの学生が満足していると回答している。教育分野ごとの授業内容に関する評価（研究科独自質問項目の質問 12）については、ほとんどの学生が総合的な満足度（SQ4）について肯定的な回答をしているが、自身の積極的な参加（SQ2）と研究や実践的活動の手がかりを得られたか（SQ3）という問いにおいては半数の「ややそう思う」の意見がみられる。また、授業内容及び水準（SQ1）については、「どちらとも言えない」にも回答があることは無視できない。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に関する評価では、全ての項目について大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。つぎに、主指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られているといえる。そして、授業外学修には、比較的多くの時間を使うことができている。

##### 【改善を要する点】

まず、カリキュラムについては他の質問項目に比べると相対的に評価が低いので、改善の余地がある。また、授業内容が研究や実践的活動につながっているかという点に関しても、十分な評価を得られているとはいいがたい。



【参考資料】

質問 12：今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【】内に記号でご記入下さい。

A. 理論経済学	B. 経済史	C. 経済政策	D. 財政学	E. 社会政策	F. 金融論	G. 統計学
2	4	3	2	1	2	2
H. 経営学	I. 商学	J. 会計学	K. 社会文化論	L. 言語科学	M. その他(外国書購読)	
5	3	1	3	1		

	大いにそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
SQ1： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか	3	2	1	0	0
SQ2： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。	3	3	0	0	0
SQ3： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。	3	3	0	0	0
SQ4： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。	5	1	0	0	0
	非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
質問 13： 演習指導教員の指導について、あなたほどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を一つお付け下さい。	5	1	0	0	0
	履修している			履修していない	
SQ1： 副演習を履修していますか。	3			3	

## 医学系研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年6月30日 ～ 令和3年3月31日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

##### 修士課程（看護学専攻）

修士課程（看護学専攻）の13名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）92%がそう思う（＝大いにそう思うとややそう思うの合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問13）69%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問14）77%がそう思うと回答、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」（質問16）100%がそう思うと回答した。

##### 博士課程（医学専攻）

博士課程の30名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）93%がそう思う（＝大いにそう思うとややそう思うの合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問13）77%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問14）70%がそう思うと回答、「大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療に有用か」（質問15）93%がそう思うと回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

まず、「大学院入学の目的は達成できたか」、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」、「大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療に有用か、今後の研究活動、実践に有用か」といったことに対して、大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院医学系研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。また、博士課程において、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」についても、十分な評価が得られている。

##### 【改善を要する点】

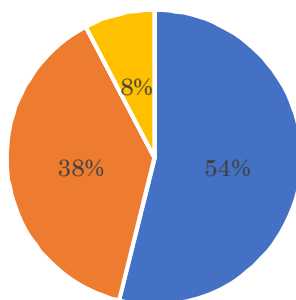
修士課程（看護学専攻）の「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」という点については、十分な評価が得られなかったため、改善が必要である。

令和2年度から看護学専攻に新たに助産学コースを設置した。また、令和4年度の看護学専攻博士後期課程設置に向けて準備を進めているところである。また、令和5年度から看護学専攻に新たに公衆衛生看護学コースの設置に向けて準備を進めている。

【参考資料】

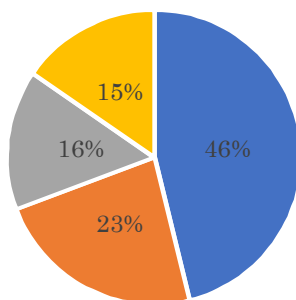
修士課程（看護学専攻）

問12全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



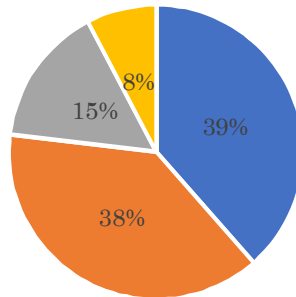
■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問13大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



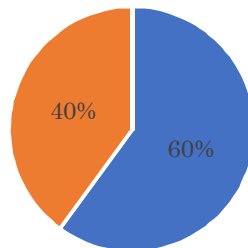
■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

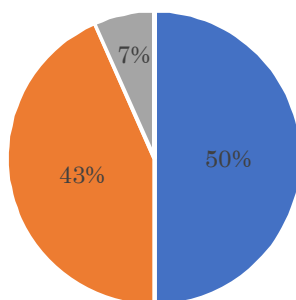
問16大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。



■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

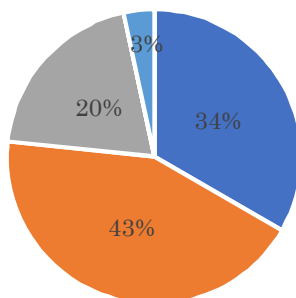
博士課程

問12全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



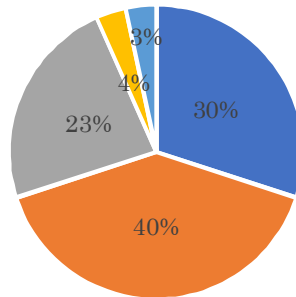
■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問13大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



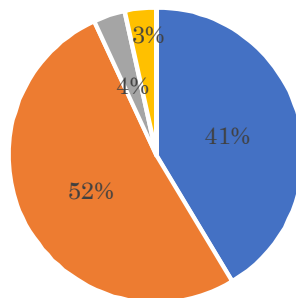
■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問15大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。



■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

## 工学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年2月3日 ～ 令和3年2月5日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

2020年度末修了予定の工学研究科の学生(回答者:90名)を対象に、[Ⅰ. 研究について](質問13から質問17)、[Ⅱ. 教育について](質問18から質問23)、[Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など](質問24から質問26)、[Ⅳ. 進路について](質問27から質問31)、[Ⅴ. その他](質問32から質問35)について調査した。特に、ここでは、[Ⅰ. 研究について]と[Ⅱ. 教育について]の分析を概説する。

[Ⅰ. 研究について] 研究活動に充実感を感じている(質問13)、指導教員のサポート(質問14)や研究設備が充実している(質問15)などの特徴があった。また、コロナ禍の影響もあると考えられるが、TAは意義がある(質問16)、大学院での学習・生活習慣で日常的にインターネットを利用(質問17)などにも特徴があった。

[Ⅱ. 教育について] 専門分野の高度な知識や問題解決・課題探求能力は大学院の学習・研究活動で修得できているが、社会問題の理解力や英語力については他に比較して自己肯定感が低い(質問18)、大学院での学習と将来の職業生活との関係性が高く評価されている(質問19)、将来の自身の進路を検討して講義を選択(質問20)、コロナ禍の影響で自学自習時間が長くなった(質問21)、さらに研究時間は長い(質問22)などの特徴があった。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

昨年度と同様に指導教員のサポート(質問14)について、「やや充実していた」を含め90%の学生が指導教員のサポートに充実感を感じており、コロナ禍にも関わらず指導教員の学生への研究指導が適切であったと考えられる。大学院での学習の意味づけ(質問19)について、大学院での学習が将来の職業生活に役立つと考えている学生が91.2%、また、条件のよい職業に就くことができると考えている学生が92.2%であり、昨年度も高い比率であったが、今年度はさらに上昇して、大学院での学習が高く評価されていると考える。

##### 【改善を要する点】

研究設備(質問15)について、全体的に評価は高いが、昨年度より減少したが今年度も「まったく充実していなかった」の回答が複数名あり、何が充実していないのか調査が必要と考える。大学院での能力の修得(質問18)について、「英語の力(DP:言語運用能力)」は52.2%であり、英語能力不足はここ数年続けて指摘されている事項であり、英語力を向上させるための教育指導に注力する必要がある。

【参考資料】

質問14

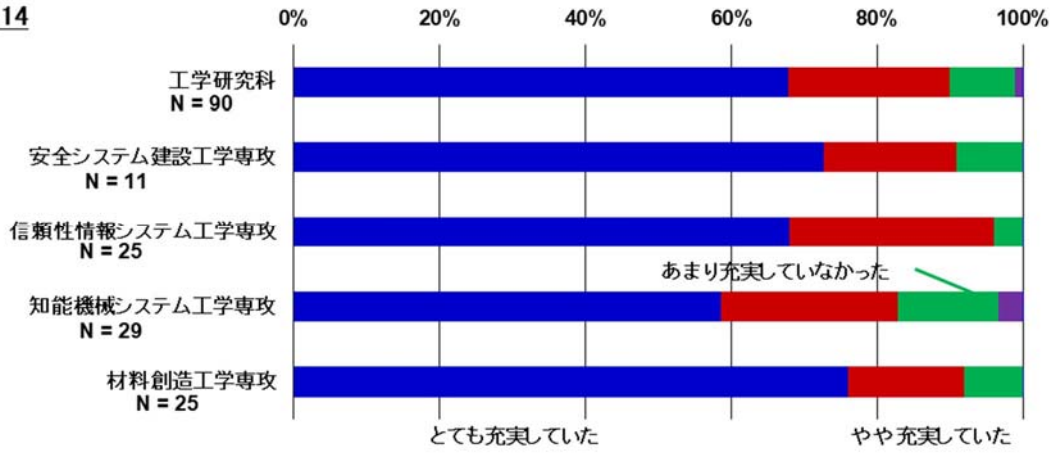


図1 アンケート項目「質問14」への回答の分布

質問15

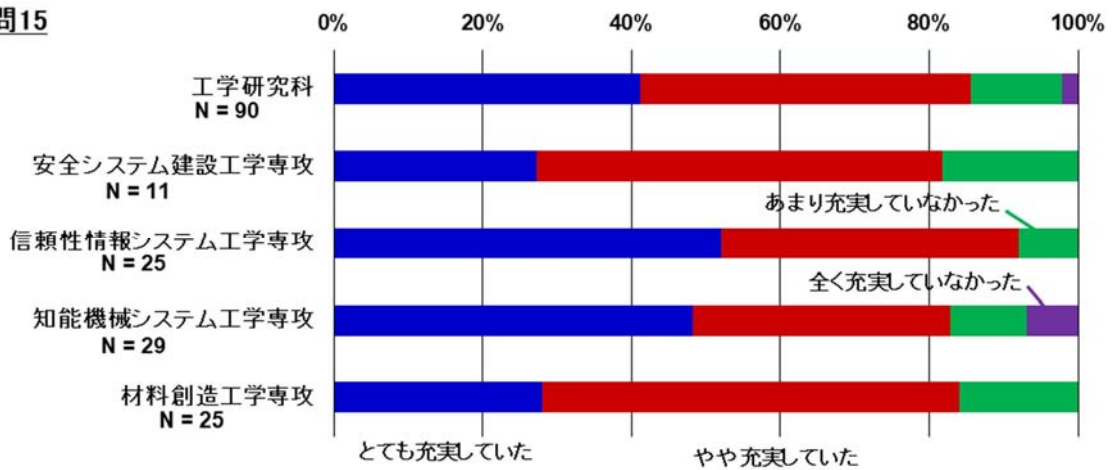


図2 アンケート項目「質問15」への回答の分布



**質問18**  
**N=90**

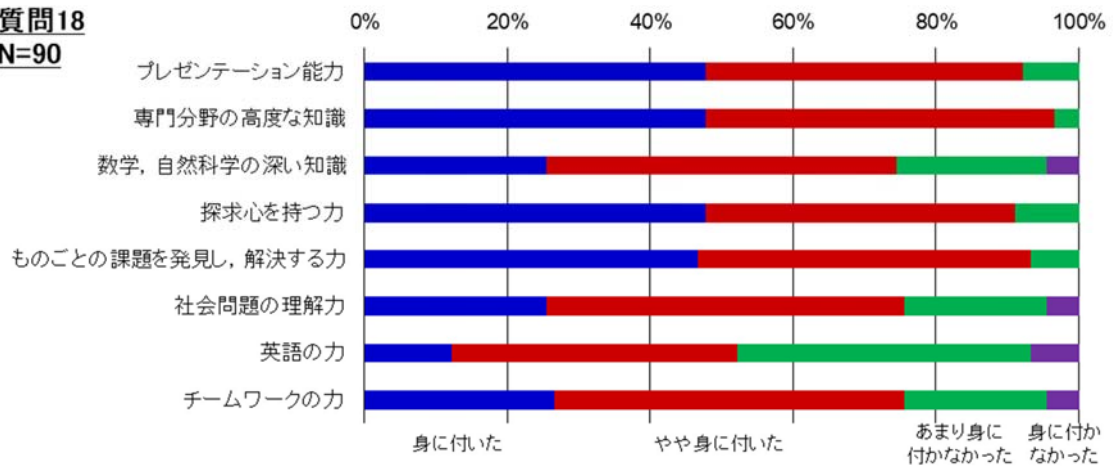


図3 アンケート項目「質問18」への回答の分布

**質問19**

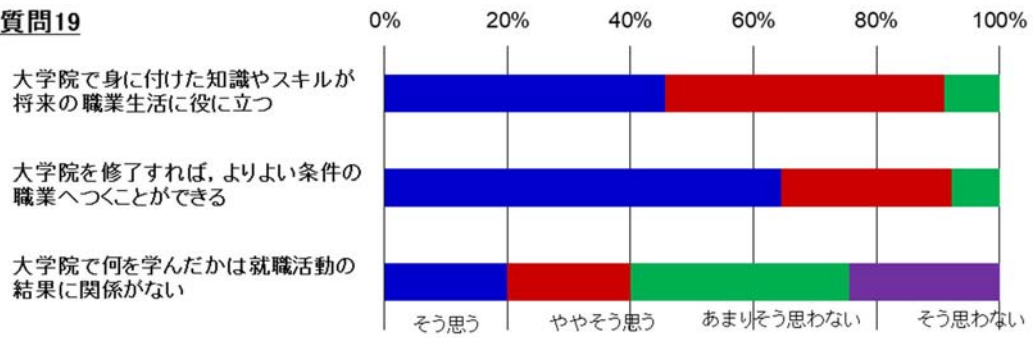


図4 アンケート項目「質問19」への回答の分布

## 農学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年2月8日 ～ 令和3年3月19日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

(調査対象者は、令和3年3月修了の55名、うち回答者数30名)

#### (1) 分析結果

農学研究科独自項目では、図1の1～12の項目についてその修得および能力の向上に研究科の教育・研究は有用だったかという質問に対し、「10：日本語によるプレゼンテーション能力」については90%以上がそう思う（「大いにそう思う」＋「そう思う」の合計）と回答し、「1：研究開発マインドの習得」、「4：課題を解決するために必要な情報の収集能力」、「5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力」、「6：得られた結果に基づいた解析能力」、「7：課題の全容を論理的に取りまとめる能力」、「8：日本語によるコミュニケーション能力」については80%以上がそう思うと回答した。また、図2の1～6の科目についてどの程度充実していたかという質問に対し、すべての科目について80%以上が充実していた（「充実していた」＋「ある程度充実していた」の合計）と回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

農学研究科独自項目では「課題解決の手法を探索し遂行する能力」、「日本語によるプレゼンテーション能力」の取得について評価が高い。農学研究科ディプロマポリシーの「専門知識・理解」、「研究能力・応用力」については修了生から十分な評価が得られていると言える。科目の評価については、ほとんどの科目で充実度が高く、十分な評価が得られている。

##### 【改善を要する点】

「9：英語によるコミュニケーション能力」、「11：英語によるプレゼンテーション能力」については、両方とも「どちらともいえない」という回答が多い。研究室内セミナーで行われる英語論文の読解や国際会議の発表練習などで英語の活用が進められたが、これをさらに継続して実施することが求められる。また、海外留学制度の積極的な活用を進めていく。

【参考資料】

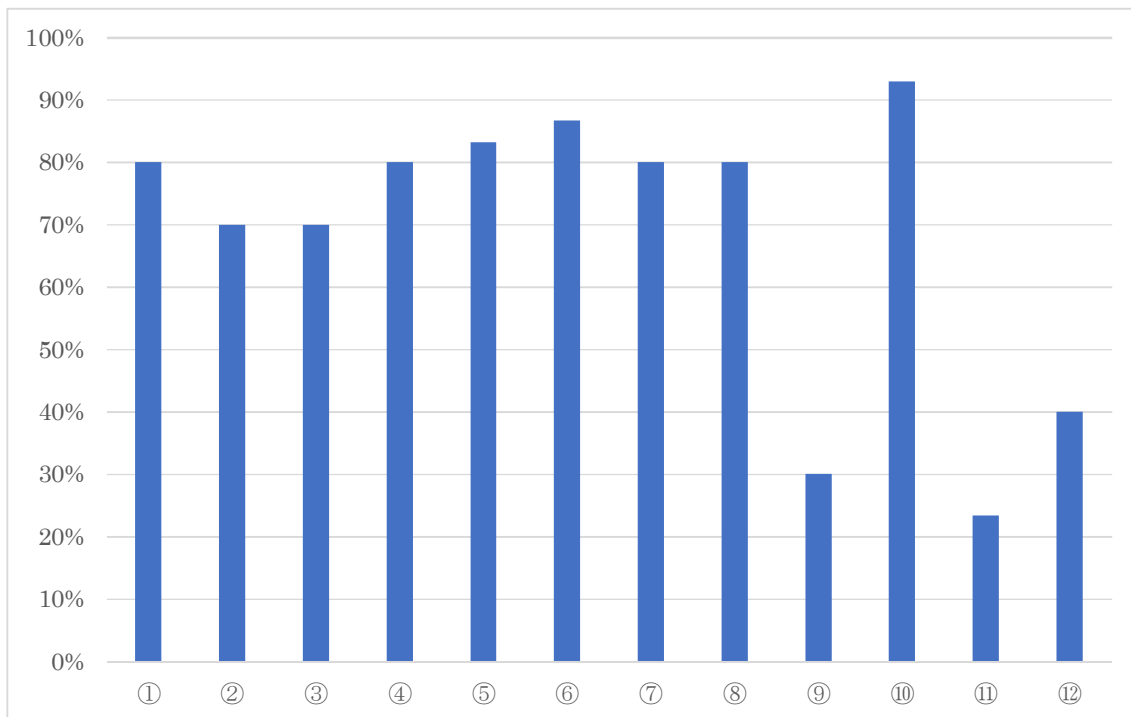


図1 農学研究科の教育・研究は、1～12に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1：研究開発マインドの習得、2：高度専門職業人となるための幅広い知識の習得、3：自ら立案する課題設定能力、4：課題を解決するために必要な情報の収集能力、5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力、6：得られた結果に基づいた解析能力、7：課題の全容を論理的に取りまとめる能力、8：日本語によるコミュニケーション能力、9：英語によるコミュニケーション能力、10：日本語によるプレゼンテーション能力、11：英語によるプレゼンテーション能力、12：グローバルマインドの習得。

注2) グラフは「大いにそう思う」＋「そう思う」の合計値を示している。

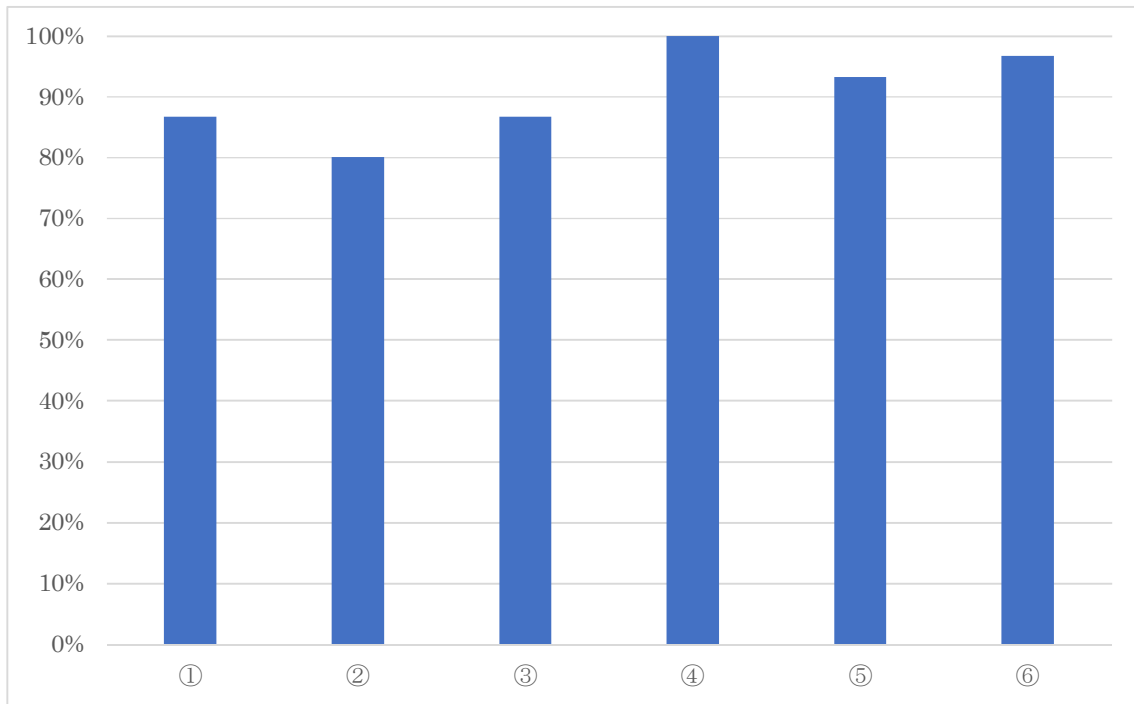


図2 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか。

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1: 基礎科目 (科学研究リテラシー、ベーシック国際研究コミュニケーション、応用生物科学クロストークセミナー)、2: 希少糖共通科目 (希少糖イノベーション、希少糖植物化学特論、希少糖応用生命科学特論、希少糖食品科学特論)、3: 展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー、国際研究実践コミュニケーション、修士・修士国際インターンシップ、アドバンスド国際研究コミュニケーション)、4: 専門科目 (〇〇特論など)、5: 専門科目 (専攻セミナーⅠ～Ⅲ)、6: 研究科目 (修士研究Ⅰ～Ⅳ、修士論文)。

注2) グラフは「充実していた」+「ある程度充実していた」の合計値を示している。

## 地域マネジメント研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年3月24日 ～ 令和3年3月24日

以下は令和2年度修了生計26人中25人の回答（回答率96.2%）についての分析である。

回答者の入学時平均年齢は38.7歳（n=24、SD=11.76）、入学時の就業状況は「正規雇用」76.0%、「非正規雇用」12.0%で、修了時は「正規雇用」84.0%、「非正規雇用」4.0%である。

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

修了生の在籍時修学状況は概ね良いと言える。回答者の9割弱が就業している中、授業への出席率90%以上が7割以上を占め、週当たり授業時間外勉強時間は平均13.02時間（昨年度14.7時間）である。学校の環境では「教室」「自習室」への満足度は概ね高いが、令和2年度はコロナ禍で学内施設の利用に制限があり、自習室については「どちらともいえない」が32.0%（同16.7%）と増加傾向となった。土曜日開講については、「必要（「ある程度必要」を含む）」とする割合が9割以上を占めている。

オンラインでの受講状況は、「授業は主に対面」16%、「授業は主に対面、事情に応じてオンライン」44%、「授業は主にオンライン」32%、「授業は主にオンライン、事情に応じて対面」8%で、「問題なくオンラインで受講できた（そう思う＋どちらかというと思う）」92%、「オンラインで受講する力が身についた（同）」84%、「オンラインの授業におおかた満足している（同）」84%となっている。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

本研究科は、修了要件である2年次プロジェクト科目を複数指導体制（学生複数名を複数教員で指導）で実施しており、84%の学生が担当の指導教員以外から指導を受け（昨年度25%）、幅広く柔軟な指導環境が確保されている。「学んだことの満足度」は「満足＋ある程度満足」が100%、「人的ネットワークの構築」では「非常にできた＋ある程度できた」が100%となっている。「研究科への愛着」は肯定的回答が96%を占めている。数は少ないが、就職支援の満足度については75%が肯定的な回答をしている。

##### 【改善を要する点】

プロジェクト科目の満足度は、「満足＋ある程度満足」が76%（同91.6%、一昨年度78.6%）、「どちらともいえない」8%、「不満＋やや不満」16%で、昨年以前と比べると満足度が低下した。その理由は、(1) コロナ禍による影響（コロナ禍で当初思い描いていた研究ができなかった、コロナでテーマを変更したため）、(2) 複数指導体制による要因（指導教員の指導内容にバラつきがある）、(3) 仕事との両立（仕事との両立が難しい）があげられていた。コロナ禍における研究活動や複数指導体制のあり方については、今後対応・改善の検討が望まれる。

## 《令和3年度》

## 第1章 修了生による大学教育評価アンケート調査の概要

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することにより、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 令和3年6月30日（水）～令和4年3月31日（木）
3. 調査対象 令和3年度修了生 238人 回答数 196人 回収率 82.4%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、教学IR部で審議決定した。  
アンケート調査業務について、アンケート作成及び実施後の取りまとめは教育企画課が統括し、アンケートの配布・回収などは各研究科で実施した。





問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

## 問 12-1. [学校教育専攻、教科教育専攻の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				今後の仕事に			
	満足	ある程度満足	やや不満	不満	役立つと思う	ある程度役立つと思う	あまり役立たないと思う	役立たないと思う
共通科目 学校教育総論、教育実践事例研究、等	4	3	2	1	4	3	2	1
専攻科目 所属分野に関する科目・コース科目	4	3	2	1	4	3	2	1
修士論文	4	3	2	1	4	3	2	1

## 問 12-2. [高度教職実践専攻（教職大学院）の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				今後の仕事に			
	満足	ある程度満足	やや不満	不満	役立つと思う	ある程度役立つと思う	あまり役立たないと思う	役立たないと思う
共通科目	4	3	2	1	4	3	2	1
コース科目	4	3	2	1	4	3	2	1
実習科目 教職実践研究を含む	4	3	2	1	4	3	2	1

問 13. 教育学研究科に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	あまり満足していなかった	不満だった
学修や研究のための図書や情報の充実	4	3	2	1
講義室、演習室、実験室、自習室等の学修・研究環境	4	3	2	1
学修や進路等の相談で教員と接する機会	4	3	2	1
教育現場での実習	4	3	2	1
研究成果の発表	4	3	2	1

◆教育学研究科のカリキュラムや学修・研究環境等について、良かった点、不満だった点、継続すべき点、改善すべき点など、自由にご意見をお書きください。

問 14. 修学上の特例（長期履修学生制度、短期履修学生制度、小学校教員免許取得コース）についてお尋ねします。

(1)あなたは、「修学上の特例」を利用しましたか。

利用した       利用しなかった

利用した方にお尋ねします。

①利用した制度やコースに○をつけてください。

長期履修学生制度、 短期履修学生制度、 小学校教員免許取得コース

②利用した制度やコースにどの程度満足しましたか。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. あまり満足していない    1. 満足していない

理由： ( \_\_\_\_\_ )

問 15. 総合的にみて、教育学研究科で学んだことに満足していますか。また、その理由もお書きください。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. あまり満足していない    1. 満足していない

理由： ( \_\_\_\_\_ )

ご協力ありがとうございました。

## 香川大学大学院修了時アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

法学研究科 法律学専攻 令和3年度修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問2. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野における高度な専門知識は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問3. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問4. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問5. 大学院の教育・研究を通じて、国際的視野は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていると思いますか。

(社会人学生以外もお答えください。)

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

問 12. 差し支えなければ、あなたの履修していた演習科目を教えてください。

問 13. あなたは、どのような理由で法学研究科に進学しましたか。もっとも当てはまるもの一つを選んでください。

1. 当時、就いていた職業において必要な知識や能力を得たかったから
2. 当時、目指していた職業や資格に必要な知識や能力を得たかったから
3. 博士課程への進学を目指していたから
4. 職業や資格とは関係なく、法学・政治学を深く学びたかったから
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

問 14. あなたの出身大学、出身学部について、当てはまるものを一つ選んでください。

<出身大学について>

1. 香川大学を卒業した
2. 香川大学の以外の大学を卒業した

<出身学部について>

1. 法学部を卒業した
2. 法学部以外の学部を卒業した

※ 2 を選ばれた方は、差し支えなければ、卒業した学部を教えてください。

( \_\_\_\_\_ 学部)

問 15. 法学研究科で開講されていた授業の数や種類は十分でしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 16. 全般的に、法学研究科で開講されていた授業の内容は満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 17. 法学研究科における授業の内容や方法について、不満に思ったことがあれば、教えてください。

問 18-1. 開講されていたら受講したかったという授業はありますか（担当者が不在等の理由で休講になっていた授業科目は除いてお考えください）。以下の中から、当てはまるものをすべて選んでください。

1. 研究方法に関する授業
2. 実務に関するする授業
3. 資格試験対策のための授業
4. 専門以外の教養を高める授業
5. その他
6. 特にない

問 18-2. 5「その他」を選ばれた方は、どのような授業科目か、お答えください。

問 19-1. 法学研究科では、ほとんどの授業で少人数教育を実施していますが、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 19-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

問 20-1. 法学研究科では社会人学生（有職者や職業経験を有する学生）と一般学生（学部卒業後、すぐに大学院に進学した学生）が混在していますが、そのような環境は、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 20-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

問 21. 教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 22. 学内の施設（図書館や法学資料室、学内で利用できる判例検索システムなど）で、研究や学習に必要な文献・資料等の収集は十分にできましたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 23. 学内の設備や施設に関して不満に思っていたことがあれば、教えてください。

問 24-1. 長期履修制度（3年間で修士の学位取得を目指す制度）を利用していた方に伺います。あなたは、長期履修制度を利用して良かったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 24-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

問 25. 差し支えなければ、現在のあなたのご職業を教えてください。

問 26. 法学研究科修了後、現在のご職業とは違うご職業に就く予定がある方は、差し支えなければ、そのご職業を教えてください。

問 27-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の職業生活において求められる知識や能力を得る上で有益でしたか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 27-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

問 28-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の（職業に関することは別に）社会生活において有益であると思われますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問 28-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

問 29. 法学研究科で受講した授業で、職業生活や社会生活において有益だったと思う科目を挙げてください。（幾つ挙げても構いません。また、理由もお書き添えください。）

問 30. 法学研究科での研究・学習全般について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。長時間にわたってご協力くださり、ありがとうございました。



## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

経済学研究科経済学専攻      令和 3年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野における高度な専門知識は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問3. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問4. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問5. 大学院の教育・研究を通じて、国際的視野は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていると思いますか。

(社会人学生以外もお答えください。)

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

【以下の質問では、経済学研究科の授業科目についてお伺いいたします。】

質問 12. 今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【 】内に記号でご記入下さい。

【 】【 】【 】【 】【 】【 】

＜教育分野＞

- A. 理論経済学      B. 経済史            C. 経済政策        D. 財政学
- E. 社会政策        F. 金融論            G. 統計学          H. 経営学
- I. 商学              J. 会計学            K. 社会文化論
- L. 言語科学        M. その他（外国書講読）

\*以下の質問項目では、左欄の【 】にあなたが受講した教育分野の記号を記入し、その教育分野に対する評価について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つずつお付け下さい。

SQ1. 上の質問9で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか。

	大いに そう思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		大いに そう思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ2. 上の質問9で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。

	大いに そう思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		大いに そう思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ3. 上の質問9で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。

	大いに 思う	やや 思う	どちら とも言 えない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない		大いに 思う	やや 思う	どちら とも言 えない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【	→					【	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【	→					【	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【	→					【	→				

SQ4. 上の質問9で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。

	非常 に満 足し てい る	やや 満 足し てい る	どちら とも言 えない	あまり 満 足し てい ない	全く 満 足し てい ない		非常 に満 足し てい る	やや 満 足し てい る	どちら とも言 えない	あまり 満 足し てい ない	全く 満 足し てい ない
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【	→					【	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【	→					【	→				
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
【	→					【	→				

SQ5. 受講した授業科目のなかで、とくによいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ6. 受講した授業科目のなかで、とくに改善してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科での演習についてお伺いいたします。】

質問 13. 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つお付け下さい。

非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
5	4	3	2	1
----- ----- ----- ----- -----				

SQ1. 副演習を履修していますか。

A. 履修している

B. 履修していない

SQ2. 演習指導についてとくに改善点してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科のカリキュラム、その他全般についてお伺いいたします。】

質問 14. 授業科目のなかで、取り上げてほしい分野等があれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ1. 時間割上で、何か問題があると感じたことはありませんか。もし問題があるようであれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ2. カリキュラム、設備、そのほかのことについて、何か要望はありませんか。どのようなことでも結構ですので、要望や改善点がありましたら、下の枠内にご記入下さい。忌憚のないご意見をお願いいたします。

質問 15. 最後に、あなたご自身についてお伺いいたします。それぞれの質問について、当てはまる記号に○を1つずつお付け下さい。

1. あなたの所属コースは    A. 分野別コース    B. フレックスコース

2. あなたの学年は            A. 1年            B. 2年            C. 3年以上

3. あなたは留学生ですか    A. はい            B. いいえ

\*\*\*\*\* たくさんの質問にご協力いただき、ありがとうございました \*\*\*\*\*

## 香川大学大学院修了時アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

医学系研究科                      課程 (                      専攻)                      年                      月修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野における高度な専門知識は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問3. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問4. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問5. 大学院の教育・研究を通じて、国際的視野は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていると思いますか。(社会人学生以外もお答えください。)

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上                      2. 26-30時間                      3. 21-25時間                      4. 16-20時間  
5. 11-15時間                      6. 6-10時間                      7. 1-5時間                      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

問 12 以降は、医学系研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。



問 12. 全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

問 13. 大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。

(在学時、社会人だった方のみ回答ください。)

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

問 14. 大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(博士課程：問 15)

問 15. 大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。

(診療に携わっている方または、今後診療を行う予定の方のみ回答ください。)

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(修士課程看護学専攻：問 16)

問 16. 大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(修士課程臨床心理学専攻：問 17)

問 17. 大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

問 18. 医学系研究科独自の自由記述欄

(1) 大学院での教育・研究の実績を今後どのように生かそうと考えていますか。

(2) 大学院での教育・研究において、改善すべき点、良かった点を記載ください。

[改善すべき点]

[良かった点]

(3) 自由記述欄

## 香川大学大学院修了時アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

工学研究科 博士前期課程 令和3年度修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問2. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野における高度な専門知識は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問3. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問4. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問5. 大学院の教育・研究を通じて、国際的視野は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた 2. どちらかといえば身についた 3. どちらかといえば身につかなかった 4. 身につかなかった

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていると思いますか。

(社会人学生以外もお答えください。)

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

以下は工学研究科独自の質問項目になります。上記と似た内容の質問についても、改めてお答えください。

問 12. あなたが所属している専攻について、あてはまる番号に○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 安全システム建設工学専攻 | 2. 信頼性情報システム工学専攻 |
| 3. 知能機械システム工学専攻 | 4. 材料創造工学専攻      |

(I. 研究について)

問 13. あなたの研究活動は充実していましたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

問 14. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

問 15. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

問 16. あなたは、TA で大学院生が講義をサポートすることをどのように考えていますか。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 非常によい        | 2. どちらかと言えばよい |
| 3. どちらかと言えばよくない | 4. よくない       |

問 17. あなたの大学院での学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	日常的に した	たまにし た	あまりし なかった	しなかつ た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) 文献を読む	1	2	3	4
3) 新聞を読む	1	2	3	4
4) 研究の計画を立てる	1	2	3	4
5) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
6) 論文や報告書を作成する	1	2	3	4
7) ボランティア活動を行う	1	2	3	4
8) 学会活動を行なう	1	2	3	4

## (Ⅱ. 教育について)

問 18. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	身についた	やや身についた	あまり身につかなかった	身につかなかった
1) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
2) 専門分野の高度な知識	1	2	3	4
3) 数学, 自然科学の深い知識	1	2	3	4
4) 探究心を持つ力	1	2	3	4
5) ものごとの課題を発見し、解決する力	1	2	3	4
6) 社会問題の理解力	1	2	3	4
7) 英語の力	1	2	3	4
8) チームワークの力	1	2	3	4

問 19. あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。下記の項目で、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1) 大学院で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役に立つ	1	2	3	4
2) 大学院を修了すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
3) 大学院で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

問 20. あなたは、履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか。

1. 非常にまじめに検討した
2. 少しはまじめに検討した
3. あまりまじめに検討しなかった
4. 全く検討しなかった

問 21. 1日に平均してどのくらい自学・自習（予習・復習・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

問 22. 1日に平均してどのくらい研究（実験・解析・ディスカッション・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

問 23. あなたは、インターンシップ・体験学習等を体験しましたか。

1. はい
2. いいえ

## (Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など)

問 24. あなたは、授業科目を選択する際に、シラバスをどの程度参考にしましたか。

1. 十分に参考にした
2. まあまあ参考にした
3. あまり参考にしなかった
4. 全く参考にしなかった

問 25. 教員は成績評価の参考にしたデータ（平常点やレポート、テスト結果など）をフィードバック（伝達・返却など）していましたか。

1. ほとんどの授業ではしっかりしていた
2. いくつかの授業ではしっかりしていた
3. した授業もあったが、しなかった授業の方が多かった
4. しなかった授業ばかりだった

問 26. 教員の単位認定（成績評価）の仕方は、信頼できましたか。

1. ほとんどの授業ではしっかりしていた
2. いくつかの授業ではしっかりしていた
3. した授業もあったが、しなかった授業の方が多かった
4. しなかった授業ばかりだった

## (Ⅳ. 進路について)

問 27. あなたの進路決定に際して、経済的問題の影響はありましたか。

1. はい
2. いいえ

問 28. あなたは修了後、どのような進路に進みますか。

1. 民間企業に就職する
2. 公務員や教員として就職する
3. 自営業や家業を継ぐ
4. 大学院に進学する
5. 他大学に（編）入学する
6. 専門学校に進学する
7. まだわからない
8. その他（具体的に

問 29. あなたが修了後の進路を決定し、行動を始めたのはいつですか。

1. 大学院入学前
2. 1年生前期
3. 1年生後期
4. 2年生前期
5. 2年生後期
6. その他

問 30. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどれくらい重要視しましたか。

	重要であつた	やや重要であつた	あまり重要でなかつた	重要でなかつた
1) 大学院で学んだことが生かせること	1	2	3	4
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4
6) 会社の知名度	1	2	3	4
7) 会社の行動・考えかた（法令遵守や地球環境貢献）	1	2	3	4
8) 福利厚生が充実していること	1	2	3	4
9) 個人の時間が確保できること	1	2	3	4
10) 親や知人の推薦・評判	1	2	3	4

問 31. あなたは、どのように会社情報を入手したり、就職に向けての努力をしたりしましたか。(複数回答可)

1. 就職(進路)資料室等で資料を調べた
2. インターネットや雑誌などで会社や求人情報などを調べた
3. 就職説明会などに参加した
4. 就職活動について、先輩に話を聞いたり、友人と情報交換をした
5. 修了後の進路について教員に相談した
6. 修了後の進路についてキャリア支援センターおよび学科の就職担当等に相談した
7. 修了後の進路について親等に相談した
8. 就職や進学に役立ちそうな資格を取得した(勉強した)
9. 修了後のために専門学校などに通った
10. その他

(V. その他)

問 32. あなたは大学院に入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか(複数回答可)。

1. マルチ商法、悪徳販売による被害
2. アルバイト先での賃金未払いや不当解雇の被害
3. セクハラ、ストーカー等の性的犯罪
4. アカハラ、パワハラなどの嫌がらせ行為
5. 学内での窃盗
6. けんか等の暴行
7. アルコールの痛飲による急性アルコール中毒
8. その他
9. 被害にあったことがない

問 33. 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良かった」、「楽しかった」と感じるなど、満足していますか。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満   | 4. 不満       |

問 34. あなたの保護者は、あなたの本大学院での修学生活に満足していると思いますか。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 満足していると思う | 2. やや満足していると思う |
| 3. やや不満だと思う  | 4. 不満だと思う      |

問 35. 授業や教育に関する要望、あるいは改善へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

## 香川大学大学院修了時アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

農学研究科                      課程（                      専攻）                      令和3年度修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野における高度な専門知識は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問3. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問4. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問5. 大学院の教育・研究を通じて、国際的視野は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていると思いますか。

(社会人学生以外もお答えください。)

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間



問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

問 12. 農学研究科の教育・研究は、以下に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

	大いにそう 思う	そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
研究開発マインドの習得	5	4	3	2	1
高度専門職業人となるための幅広い知識の習得	5	4	3	2	1
自ら立案する課題設定能力	5	4	3	2	1
課題を解決するために必要な情報の収集能力	5	4	3	2	1
課題を解決するための手法の探索と遂行能力	5	4	3	2	1
得られた結果に基づいた解析能力	5	4	3	2	1
課題の全容を論理的に取りまとめる能力	5	4	3	2	1
日本語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
英語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
日本語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
英語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
グローバルマインドの習得	5	4	3	2	1

問 13. 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？

	充実してい た	ある程度 充実してい た	どちらとも いえない	やや充実し て いなかった	充実してい なかった
基礎科目 (科学研究リテラシー、ベーシック国際研究コミュニケーション、 応用生物科学クロストークセミナー)	5	4	3	2	1
希少糖共通科目 (希少糖イノベーション、希少糖植物化学特論、 希少糖応用生命科学特論、希少糖食品科学特論)	5	4	3	2	1
展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー、国際研究実践コミュニケーション、 修士インターンシップ、国際修士インターンシップ、アドバンスド国際研究 コミュニケーション)	5	4	3	2	1
専門科目 (○○特論など)	5	4	3	2	1
専門科目 (専攻セミナーI~III)	5	4	3	2	1
研究科目 (修士研究I~IV、修士論文)	5	4	3	2	1
研究科目 (国際研究A・B) *研究留学	5	4	3	2	1
研究科目 (実践研究) *社会人学生	5	4	3	2	1

## 香川大学大学院修了時アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

地域マネジメント研究科 専門職学位課程      令和 3年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野における高度な専門知識は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問3. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問4. 大学院の教育・研究を通じて、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問5. 大学院の教育・研究を通じて、国際的視野は、どの程度身につきましたか。

1. 身についた    2. どちらかといえば身についた    3. どちらかといえば身につかなかった    4. 身につかなかった

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていると思いますか。(社会人学生以外もお答えください。)

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関係する学習・活動も含みます。)

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 31時間以上  | 2. 26-30時間 | 3. 21-25時間 | 4. 16-20時間 |
| 5. 11-15時間 | 6. 6-10時間  | 7. 1-5時間   | 8. 0時間     |

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が  
良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

令和3年度 香川大学大学院地域マネジメント研究科修了時アンケート

ご記入上の注意

\*各問の各項目について、指定がない限り、回答を一つ選んで下さい。

**I. 在学当時の状況についてお尋ねします。**

質問 12. あなたが履修した科目の出席状況について選択して下さい。(全ての回に出席した場合を 100%とします)

1. 100% 2. 95-99% 3. 90-94% 4. 85-89% 5. 80-84% 6. 75-79% 7. 70-74%  
8. 60-69% 9. 50-59% 10. 40-49% 11. 30-39% 12. 20-29% 13. 10-19% 14. 10%未満

質問 13. あなたは授業時間以外の勉強に時間を1週間にどの程度、確保しましたか。

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間 5. 11-15時間  
6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

質問 13-2. また、あなたは授業時間以外の勉強に時間をどのように確保しましたか。

( \_\_\_\_\_ )

質問 14. あなたが仕事の上で役に立ったと思う科目を挙げて下さい (最大3つ)。

☆第1位 (科目名: \_\_\_\_\_)

☆第2位 (科目名: \_\_\_\_\_)

☆第3位 (科目名: \_\_\_\_\_)

質問 15. あなたが仕事とは関係ないが、役に立ったと思う科目を挙げて下さい (最大3つ)。

☆第1位 (科目名: \_\_\_\_\_)

☆第2位 (科目名: \_\_\_\_\_)

☆第3位 (科目名: \_\_\_\_\_)

質問 16. 地域やビジネスでリーダーとして活躍するにあたって、本研究科が提供する科目に加えて、幅広い教養の修得を目指した教養科目は必要だと思いますか。

1. 教養科目は必要で、あれば受講したかった。  
2. 教養科目は必要だが、あっても受講はしなかった。  
3. 教養科目は必要だと思わない。or 今提供されている科目で充分である。  
4. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 16-2. 「必要」と回答した方に伺います。必要と思う教養科目を具体的にご記入ください。

( \_\_\_\_\_ )

質問 17. 土曜日の開講について必要だと思いますか。

1. 必要                                      2. ある程度必要                                      3. どちらともいえない  
4. あまり必要でない                                      5. 必要でない

質問 18. 各年次における履修登録単位数の上限 30 単位（夏季・冬季休暇中の集中講義を除く）についてどう思いますか。

※授業時間（90 分×15 回）と事前・事後学習（1 科目 60 時間）を考慮すると、30 単位の履修には 1 日約 3.4 時間の授業・学習時間が必要になります。

1. 妥当である  
2. 2～4 単位増やすべき  
3. 6～8 単位増やすべき

質問 19. プロジェクト研究についてどう思いますか。またその理由は何ですか。

1. 満足している                                      2. ある程度満足している                                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                                      5. 不満である

(理由: \_\_\_\_\_ )

質問 20. 自身のプロジェクト研究について、プロジェクト研究担当教員以外に相談し、助言・指導を受けましたか。その理由についてもお答え下さい。

1. 十分な助言・指導を受けた                                      2. 充分とはいえないが、助言・指導を受けた  
3. 助言・指導は受けなかった                                      4. その他 ( \_\_\_\_\_ )

(理由: \_\_\_\_\_ )

質問 20-2. 「1. 十分な助言・指導を受けた」「2. 充分とはいえないが、助言・指導を受けた」と回答した方に伺います。プロジェクト研究担当教員以外で、助言・指導を受けた人として該当するもの全てを選んで下さい。

1. 本研究科内の教員                                      2. 学内の教員                                      3. 他大学の教員                                      4. 学外の有識者・研究者  
5. 職場の人（上司・同僚など）                                      6. 本研究科内の学生                                      7. 本研究科の修了生  
8. 友人・知人・家族                                      9. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 21. あなたは教室の環境についてどの程度満足していますか。

1. 満足している                                      2. ある程度満足している                                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                                      5. 不満である

質問 22. あなたは自習室の環境についてどの程度満足していますか。

1. 満足している                                      2. ある程度満足している                                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                                      5. 不満である

質問 23. 地マネ PC ルームの利用頻度・状況として最も該当するものを1つ選んでください。

1. 1週間に1回以上 → 質問 24. へ
2. 1ヶ月に2~3回程度 → 質問 24. へ
3. 1ヶ月に1回程度 → 質問 24. へ
4. イベントやプロジェクト研究等で特定の時期のみに集中的に利用 → 質問 24. へ
5. ほとんど利用しなかった → 質問 25. へ

質問 24. 地マネ PC ルームを利用していた方 (質問 23 で 1 から 4 を選ばれた方) にお尋ねします。

以下のアプリケーション・機器のそれぞれについて、利用頻度として該当するものを1つ選んでください。

アプリケーション・機器	利用頻度		
	よく利用した	たまに利用した	利用していない
MS-Office (Word, Excel, PowerPoint)	3	2	1
SPSS	3	2	1
プリンター	3	2	1

質問 25. 地マネ PC ルームに導入してほしい機器や PC にインストールしてほしいアプリケーションがあればお答えください。

( \_\_\_\_\_ )

質問 26. オンラインでの受講状況について、以下から該当するものを選んでください。

1. 授業は主に対面で受講した。
2. 授業は主に対面で受講したが、事情に応じてオンラインで受講することもあった。
3. 授業は主にオンラインで受講した。
4. 授業は主にオンラインで受講したが、事情に応じて対面で受講することもあった。
5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 27. オンラインでの授業科目や受講についてお尋ねします。以下の各項目について該当するものを選んで下さい。

	分からない	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない
1. 問題なくオンラインで受講できた。	0	4	3	2	1
2. オンラインで受講する力が身についた。	0	4	3	2	1
3. オンラインの授業におおかた満足している。	0	4	3	2	1
4. コロナ感染症が終息した後もオンラインの授業は必要である。	0	4	3	2	1
5. 本研究科の授業は対面で受講する方がよい。	0	4	3	2	1





**Ⅲ. 修了時の効果についてお尋ねします。**

質問 32. 以下に示すさまざまな能力は、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。また、大学院教育を通じてどの程度身につきましたか。

	現在の仕事で				大学院教育で				
	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	入学時に既に身につけていた	身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない
他人に働きかけ巻き込む力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
地域や組織の現場における現状と課題を明らかにする力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
地域や組織の現状と課題を俯瞰的に地域や組織全体の中に位置付ける力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
知識を課題解決に応用する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
複眼的な政策・戦略を立案する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
戦略や政策を実行する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
新しい価値を生み出す力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
汎用的なモデルを構築する力(ビジネス・モデル, 概念モデル等)	4	3	2	1	0	4	3	2	1
自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
意見の違いや立場の違いを理解する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
幅広い知識や教養	4	3	2	1	0	4	3	2	1
専門分野に関する知識や技能	4	3	2	1	0	4	3	2	1
論理的思考力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
リーダーシップ	4	3	2	1	0	4	3	2	1
挑戦する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
地域に貢献する力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
地域や社会の特性や魅力を見出す力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
倫理観・社会的責任を持って物事に取り組む力	4	3	2	1	0	4	3	2	1
グローバルな視点から物事を考える力	4	3	2	1	0	4	3	2	1

質問 33. 地域マネジメント研究科に入学する以前、あなたは地域や社会に関心をもっていましたか。

1. 高い関心をもっていった
2. 関心をもっていった
3. あまり関心をもっていなかった
4. 全く関心をもっていなかった

質問 34. 地域マネジメント研究科に入学後、地域や社会への関心に変化がありましたか。

1. 関心が高まった
2. 関心に変化はなかった
3. 関心が下がった

質問 35. あなたは地域マネジメント研究科で人的なネットワークを構築できましたか。

1. 非常にできた
2. ある程度できた
3. どちらともいえない
4. あまりできなかった
5. 全くできなかった

質問 36. 総合的にみて、あなたは地域マネジメント研究科で学んだことに満足していますか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

質問 37. あなたは地域マネジメント研究科に愛着がありますか。

1. 非常にある
2. ある程度ある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. 全くない

質問 38. 地域マネジメント研究科のカリキュラム等について自由に意見を記入して下さい。

#### **Ⅳ. 現在の状況についてお尋ねします。**

質問 39. 能力向上のため、何か自己研修を行っていますか。

1. 行っている
2. 予定している
3. ない

質問 39-2. 上記の回答が「1. 行っている」「2. 予定している」の方は、その自己研修の内容をご記入ください。

(内容: \_\_\_\_\_)

質問 40. 個人あるいはグループで地域のために何か活動を行っていますか。

1. ある
2. 予定している
3. ない

質問 40-2. 上記の回答が「1. ある」「2. 予定している」の方は、その活動内容をご記入ください。

(内容: \_\_\_\_\_)

質問 41. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムなどに参加しようと思いますか。

1. 思う
2. 思わない

質問 42. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムはどのような形がよいと思いますか。

1. 一般公開
2. 在学生・修了生のみ対象
3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 43. 地域マネジメント研究科に、後期（10月）入学が必要であると思いますか。

1. 非常に必要
2. ある程度必要
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要ない

質問 43-2. 前問（後期入学が必要）の回答について、その理由は何ですか。

(理由: \_\_\_\_\_)

#### **Ⅴ. 香川大学、あるいは地域マネジメント研究科についてお尋ねします。**

質問 44. 香川大学、あるいは地域マネジメント研究科がもっと重視したり改善したりした方が良いと思う教育内容や取り組み、要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

## VI. あなた自身についてお尋ねします。

質問 45. 地域マネジメント研究科入学年及び入学時の年齢について

- 入 学 年 :  2017 年入学  2018 年入学  2019 年入学  2020 年入学  
 入学時の年齢:  22-29 歳  30-39 歳  40-49 歳  50-59 歳  60 歳以上

質問 46. 地域マネジメント研究科入学時の自宅所在地及び勤務地（都道府県名・市町村名）について

※四国 4 県及び岡山県の方は、続いて地域（市町村）名を選択ください。

※それ以外の方は、「その他」欄に都道府県名・市町村名をご記入ください。

自宅所在地:

- 香川県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 徳島県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 愛媛県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 高知県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 岡山県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 その他 ( \_\_\_\_\_ ) 都・道・府・県 → ( \_\_\_\_\_ ) 市・町・村

勤 務 地:

- 香川県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 徳島県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 愛媛県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 高知県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 岡山県 → 地域（市町村）名: ( \_\_\_\_\_ )  
 その他 ( \_\_\_\_\_ ) 都・道・府・県 → ( \_\_\_\_\_ ) 市・町・村

質問 47. 地域マネジメント研究科入学時の就業状況について

1. 正規雇用で働いていた → 質問 48. へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いていた（派遣社員、アルバイト等を含む） → 質問 48. へお進みください。  
 3. 働いていない → 質問 50. へお進みください。

質問 48. 地域マネジメント研究科入学時の職種について

1. 農林 2. 水産関係 3. 建設 4. 機械関係 5. 食品 6. 化学関係 7. 情報・通信関係  
 8. 商社 9. 金融関係 10. 販売 11. サービス関係 12. マスコミ・出版関係  
 13. 保健・衛生・医療関係 14. 公務員（国・地方自治体） 15. 教育関係  
 16. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 49. 地域マネジメント研究科入学時の役職について

1. 経営者、代表取締役 2. 取締役または執行役員、参与 3. 部長、参事 4. 次長  
 5. 課長、主幹 6. 係長、主査 7. 主任 8. 主事、一般社員・職員、係員  
 9. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 50. 現在の就業状況について

1. 正規雇用で働いている → 質問 51. へお進みください。
2. 非正規雇用で働いている（派遣社員、アルバイト等を含む） → 質問 51. へお進みください。
3. 働いていない

質問 51. 現在の職種について

1. 農林 2. 水産関係 3. 建設 4. 機械関係 5. 食品 6. 化学関係 7. 情報・通信関係
8. 商社 9. 金融関係 10. 販売 11. サービス関係 12. マスコミ・出版関係
13. 保健・衛生・医療関係 14. 公務員（国・地方自治体） 15. 教育関係
16. その他（ ）

質問 52. 現在の役職について

1. 経営者、代表取締役 2. 取締役または執行役員、参与 3. 部長、参事 4. 次長
5. 課長、主幹 6. 係長、主査 7. 主任 8. 主事、一般社員・職員、係員
9. その他（ ）

以上です。ご協力大変ありがとうございました。

(別紙)

質問 14. および質問 15. の科目名 (2020 年度・2021 年度の開講科目名)

- 統計分析
- ゲーム理論
- 経済分析
- 定性的研究方法論
- 四国経済事情 (地域活性化と地域政策)
- 四国経済事情 (地域活性化と企業経営)
- 四国経済事情 (地域活性化と地域資源)
- 研究倫理
- 経営戦略
- アカウンティング
- 組織行動論
- 経営管理論
- マーケティング戦略
- ファイナンス・マネジメント
- 地域公共政策
- 地域マネジメント論
- 社会起業家論
- 意思決定分析
- マーケティング・リサーチ
- ビジネス・アカウンティング (財務会計)
- マネジメント・アカウンティング (管理会計)
- 人的資源管理論
- 都市・環境政策の経済評価
- 国際経営
- 地域経済分析
- 費用便益分析
- 経営リスク・マネジメント
- 事業構想論
- 企業倫理
- クリエイティビティと地域活性化
- 自治体財政政策
- 環境経営
- サービス・マネジメント
- クリティカル・シンキング
- 中小企業ファイナンスと事業承継
- デザイン・マネジメント
- 生産マネジメント
- 地域産業連関分析
- 実践型地域活性化演習
- 実践型クリエイティブワーク演習
- 地域の中小企業と経済活性化
- 地域活性化と観光創造
- 地域産業政策
- ライフアントレプレナーシップ
- 技術経営・イノベーション特論
- 観光地マネジメント
- ライフプランニング論
- 実践型地域づくり演習
- プロジェクト演習・研究
- 補助授業：MBA のための数学セミナー
- 該当するものがない

質問 46. 地域マネジメント研究科入学時の自宅所在地及び勤務地（都道府県名・市町村名）について

※四国 4 県及び岡山県の選択肢

- 香川県 →  高松市  
 東讃（東かがわ市、さぬき市、三木町）  
 中讃（丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町）  
 西讃（三豊市、観音寺市）  
 小豆（小豆島町、土庄町）及び直島町  
 その他（ ）
- 徳島県 →  徳島市  
 徳島市を除く東部（鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦郡、名東郡、名西郡、板野郡）  
 西部（美馬市、三好市、美馬郡、三好郡）  
 南部（阿南市、那賀郡、海部郡）  
 その他（ ）
- 愛媛県 →  松山市  
 東予（四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、上島町）  
 松山市を除く中予（伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町）  
 南予（八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）  
 その他（ ）
- 高知県 →  高知市  
 中央東（南国市、香南市、香美市、芸西村、本山町、大豊町）  
 東部（室戸市、安芸市、田野町、安田町、奈半利町、北川村、馬路村、東洋町）  
 中央西（土佐市、土佐町、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村、須崎市、  
 四万十町、津野町、禰原町、大川村、中土佐町）  
 幡多（宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、黒潮町、三原村）  
 その他（ ）
- 岡山県 →  岡山市  
 倉敷市  
 玉野市  
 その他（ ）

## 第2章 調査結果について

### 1. 全学的な視点からの分析

#### (1) 分析結果

第一に、社会人学生についてである。「あなたは社会人学生ですか」(質問 1) という質問に対し 28.6%が社会人学生であると回答した。

第二に、修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に対する修了生自身の評価である。大学院の教育・研究を通じて、「高度な専門知識」(質問 2)、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力」(質問 3)、「倫理観や社会的責任」(質問 4)、そして「国際的視野」(質問 5) といった専門的な能力・態度が身についたかという質問に対して、質問 2 と 3 と 4 については約 95%が、そして質問 5 については約 70%が、身についた(身についたとどちらかといえば身についたの合計)と回答した。

第三に、大学院の教育・研究に関する制度や環境に対する修了生の評価である。まず、「大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムが十分整っていたか」(質問 6) については、大いにそう思うが 36.7%、ややそう思うが 52.0%、あまりそう思わないが 9.7%であった。つぎに、主指導教員(質問 7) と副指導教員(質問 8) の指導は十分だったかについては、質問 7 は約 95%が、質問 8 は約 90%が、そう思う(大いにそう思うとややそう思うの合計)と回答した。なお、副指導教員がいない学生もいるため、質問 8 の割合は副指導教員がいる学生のみで算出した場合の割合である。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

まず、大学院の教育・研究を通じて、「高度な専門知識」、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力」、「倫理観や社会的責任」について、修了生の約 95%が身についた(身についたとどちらかといえば身についたの合計)と回答したことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーを構成する 4 つの要素(①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインド)のうち、3つ(①、②、③)については、修了生から十分な評価が得られているといえる。

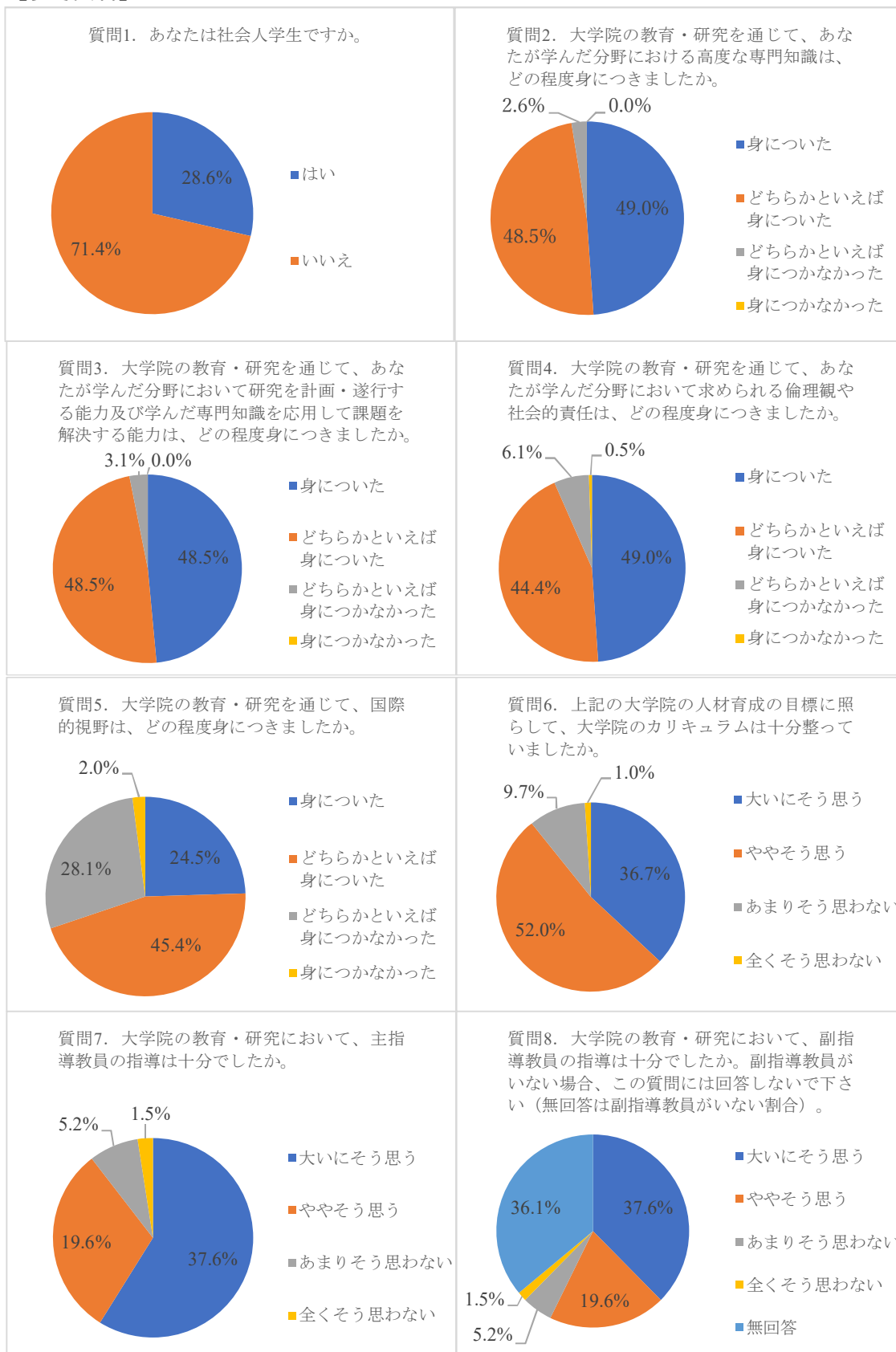
次に、主指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られている。これらの内容は平成 30 年度のアンケート開始時より、継続して肯定的な評価が得られている。さらに、副指導教員がいない学生の割合について、平成 30 年度のアンケート開始時より最も低い割合となっており、主・副指導教員体制が強化されていることが確認できる。第 3 期中期計画では、主・副指導教員体制を強化することを目標として掲げており、その結果を反映していると推測される。

##### 【改善を要する点】

大学院の教育・研究を通じて「国際的視野」が身についたと回答した割合は、上記の他の 3 つの専門的な能力・態度と比較すると、相対的に低い。これは、平成 30 年度のアンケート開始以降継続している傾向である。ただし、調査対象である令和 3 年度修了生については、コロナ禍で教育・研究を行わなければならなかったことが特に影響している可能性がある。コロナ禍のように国境を越えた移動が困難な状況になった際、大学院の教育・研究でどのように国際的視野を身につけさせるかは今後の課題であろう。



【参考資料】



## 2. 研究科に関する分析

### 教育学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年3月24日

\*\*\*\*\*

## 1. 研究科に関する分析

### (1) 分析結果

令和3年度修了生に対する教育研究科としてのアンケートは、修士課程の修了生3名(学校教育専攻1名、教科教育専攻2名)、高度教職実践専攻(以下、教職大学院と記述)11名(学校力開発コース1名、授業力開発コース6名、特別支援力開発コース4名)に対して実施した。回答者数は、12名(修士課程3名、教職大学院9名)であった。

研究科独自の質問項目は、①専門科目について、どの程度満足していたか(満足度)、また今後の仕事の中でどの程度役立つと思うか(有益度)を尋ねた質問(問12-1、12-2)、②教育学研究科に在学中、学修や研究のための図書や情報、学修・研究環境、教員と接する機会、教育現場の実習、研究成果の発表についてどの程度満足していたか(満足度)を尋ねた質問(問13)、③修学上の特例(長期履修学生制度、短期履修学生制度、小学校教員免許取得コース)の利用状況と満足度について尋ねた質問(問14)、④教育学研究科の学びの総合的な満足度を尋ねた質問(問15)である。これらの質問について、4段階評価による平均値(満足度については「不満」を1点、「やや不満」を2点、「ある程度満足」を3点、「満足」を4点とし、有益度については、「役立たない」1点、「あまり役立たない」2点、「ある程度役立つ」3点、「役立つ」を4点とする加重平均)を算出した。

総合的な満足度(問15)の平均値は3.89(とても満足している8名、ある程度満足している1名、未回答3名)という高い数値であった。また、全ての質問項目について平均値は3.0以上となっている。とりわけ学校教育専攻及び教科教育専攻の回答者全員が、専門科目の満足度及び有益度のいずれにおいても最も高い得点で評価した。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

4つのカテゴリーごとの結果を見ると、①各専攻の専門科目の満足度及び有益度は、学校教育専攻・教科教育専攻の平均値がいずれも4.0、教職大学院がいずれも3.0以上であり、比較的高い水準で評価されている。②大学院在学中に満足していた事柄としては、「学修や進路指導等の相談で教員と接する機会」(3.91)、「教育現場での実習」(3.82)、「研究成果の発表」(3.82)が高く評価されており、自由回答記述からも院生と教員とのコミュニケーションが緊密に図られていることがうかがえる。③修学上の特例については、全回答者12名中8名が利用(66.7%)しておりその満足度の平均値は3.63であり、5名が「満足している」3名が「ある程度満足している」と高く評価しており、自由記述からは学校現場の実情に即した制度として受け入れられていることがうかがえる。④先の3項目を踏まえ、教育学研究科における学修の総合的な満足度は前述のとおりかなり高く評価されている。その理由に

関する自由記述回答からも、幅広い経験や知識を得る機会となり、理論と実践の往還の意義を感じていることがうかがえる。

#### **【改善を要する点】**

各質問項目に対する回答状況を個別にみると、平均値が最も低いのは教職大学院における共通科目の満足度（3.25）であり、次点が共通科目の有益度（3.38）となっている。専門性の基盤となる総合的な力量形成を目的とする共通科目の趣旨を踏まえ、院生が意義を認識し主体的に学ぶ意欲を高められるよう一層の授業改善が望まれる。また専門科目満足度の回答状況を個別にみると、教職大学院では、「やや不満」の回答者が共通科目（1名）、コース科目（2名）、実習科目（1名）となっていることから、各授業に関する「学生による授業評価」などを参照し一層の改善を図る必要がある。さらに問13の「学修研究のための図書や情報の充実」及び「講義室、演習室実験室、自習室等の学修・研究環境」については、各1名が「あまり満足しなかった」と回答していることに着目し、充実と環整備を図るための不断の取組が望まれる。

**【参考資料】**

研究科独自の質問項目

問 12-1. [学校教育専攻、教科教育専攻の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
共通科目	3	0	0	0	0	3	4.00
専攻科目	3	0	0	0	0	3	4.00
修士論文	3	0	0	0	0	3	4.00

また、今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。

	4. 役立つと思う	3. ある程度役立つと思う	2. あまり役立つなと思う	1. 役立つなと思う	未回答	計	平均
共通科目	3	0	0	0	0	3	4.00
専攻科目	3	0	0	0	0	3	4.00
修士論文	3	0	0	0	0	3	4.00

問 12-2. [高度教職実践専攻（教職大学院）の方]

あなたは以下の専門科目について、どの程度満足しましたか。

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
共通科目	3	4	1	0	1	9	3.25
コース科目	6	1	2	0	0	9	3.44
実習科目	5	3	1	0	0	9	3.44

今後の仕事の中でどの程度役立つと思いますか。

	4. 役立つと思う	3. ある程度役立つと思う	2. あまり役立つなと思う	1. 役立つなと思う	未回答	計	平均
共通科目	3	5	0	0	1	9	3.38
コース科目	6	2	0	0	1	9	3.75
実習科目	6	2	0	0	1	9	3.75

質問 13. 教育学研究科に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
学修や研究のための図書や情報の充実	8	2	1	0	1	12	3.64
講義室、演習室、実験室、自習室等の学修・研究環境	9	1	1	0	1	12	3.73

	4. 満足	3. ある程度満足	2. やや不満	1. 不満	未回答	計	平均
学修や進路等の相談で教員と接する機会	10	1	0	0	1	12	3.91
教育現場での実習	9	2	0	0	1	12	3.82
研究成果の発表	9	2	0	0	1	12	3.82

◆教育学研究科のカリキュラムや学修・研究環境等について、良かった点、不満だった点、継続すべき点、改善すべき点など、自由にご意見をお書きください。

先生方との距離が近く（指導教員以外も）、すぐに質問や相談できる環境が整っていた。

質問 14. 修学上の特例（長期履修学生制度、短期履修学生制度、小学校教員免許取得コース）についてお尋ねします。

(1)あなたは、「修学上の特例」を利用しましたか。

利用した	利用しなかった	未回答	計
8	3	1	12

① 利用した制度やコース

長期履修学生制度	短期履修学生制度	小学校教員免許取得コース	計
0	5	3	8

② 利用した制度やコースにどの程度満足しましたか。

4. 満足している	3. ある程度満足している	2. あまり満足していない	1. 満足していない	未回答	計	平均
5	3	0	0	0	8	3.63

理由

大学院と十分両立できるし、知識も身につきました
早く現場に戻れるが、物足りなさを感じるから
時間をかけてしっかり勉強することができた
1年で修了でき、現場に戻れる
2年間修学し、もっと学びたかった

問 15. 総合的にみて、教育学研究科で学んだことに満足していますか。

4. 満足している	3. ある程度満足している	2. あまり満足していない	1. 満足していない	未回答	計	平均
8	1	0	0	3	12	3.89

理由

他学部出身であり知識がないまま入学しましたが、充実したカリキュラムで教育について学びました
実践と理論の結びつきを味わうことができたから
様々な経験ができた

## 法学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年3月24日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

第一に、修了生の特徴である。令和3年度の修了生は1名のみであり、演習科目として税法を履修している（質問12）。法学研究科へ進学した目的は、「その他」と回答しているものの（質問13）、税理士試験の科目免除を目的とする院生であったため、職業上の知識や能力の修得のためであったと考えてよい。また、出身大学は、本学以外の大学（工学部）である（質問14）。

第二に、授業への評価である。法学研究科で開講されていた授業の数や種類、およびその内容等については、いずれの回答も「大いに思う」ないし「やや思う」であった（質問15、16）。特に授業の方法について、コロナ禍で非常勤講師による講義の対応が遅れて、2年次後期の開講となってしまったことに対する不満がみられた（質問17）。

第三に、法学研究科の特徴である少人数教育および社会人学生と一般学生の混在の有益性については、「大いに思う」「やや思う」であった（質問19、20）。

第四に、学内の設備や施設についてである。教室や教育のための設備および学内の図書館や資料室等施設の満足度については、「大いに思う」「やや思う」であった（質問21～23）。

第五に、法学研究科での教育・研究の修了後の生活への影響である。法学研究科での教育・研究の、その後の職業生活およびそれ以外の社会生活における有益性については、「大いに思う」「やや思う」であった（質問27、28）。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

法学研究科の特徴である少人数教育および社会人教育については、修了生から十分な評価が得られているといえる。これについては、平成30年度～令和2年度についても同様であった。

##### 【改善を要する点】

コロナ禍で、非常勤講師がすぐにオンライン授業に対応できなかったことへの不満が示されたが、現在は基本的に対面で授業を行っており、場合によってはオンライン授業も問題なく実施できるよう改善されている。

## 経済学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年3月25日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

演習指導教員の指導に対する満足度（研究科独自質問項目の質問 13）については、全ての学生が満足していると回答している。教育分野ごとの授業内容に関する評価（研究科独自質問項目の質問 12）については、ほとんどの学生が授業内容及び水準（SQ1）と総合的な満足度（SQ4）について肯定的な回答をしているが、自身の積極的な参加（SQ2）と研究や実践的活動の手がかりを得られたか（SQ3）という問いにおいては、前者が少数の、後者が半数の「ややそう思う」の意見がみられる。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に関する評価では、全ての項目について大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。つぎに、主指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られているといえる。そして、授業外学修には、比較的多くの時間を使うことができている。

##### 【改善を要する点】

まず、カリキュラムについては他の質問項目に比べると相対的に評価が低いので、改善の余地がある。また、授業内容が研究や実践的活動につながっているかという点に関しても、十分な評価を得られているとはいえない。

【参考資料】

質問 12：今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【】内に記号でご記入下さい。

A. 理論経済学	B. 経済史	C. 経済政策	D. 財政学	E. 社会政策	F. 金融論	G. 統計学
0	0	0	0	1	0	0
H. 経営学	I. 商学	J. 会計学	K. 社会文化論	L. 言語科学	M. その他(外国書購読)	
4	1	1	1	0	0	

	大いにそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
SQ1： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか。	5	1	0	0	0
SQ2： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。	4	2	0	0	0
SQ3： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。	3	3	0	0	0
SQ4： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。	5	1	0	0	0
	非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
質問 13： 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を一つお付け下さい。	7	0	0	0	0
	履修している		履修していない		
SQ1： 副演習を履修していますか。	7		0		



## 医学系研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和3年6月30日 ～ 令和4年3月31日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

##### 修士課程（看護学専攻）

修士課程（看護学専攻）の8名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）75%がそう思う（＝「大いにそう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問13）75%がそう思うと回答、「大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいか」（質問14）50%がそう思うと回答、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」（質問16）87%がそう思うと回答した。

##### 修士課程（臨床心理学専攻）

修士課程（臨床心理学専攻）の4名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）100%がそう思う（＝「大いにそう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答、「大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか」（質問13）在学時社会人だった者のみの回答のため該当者なし、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問14）50%がそう思うと回答、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」（質問17）100%がそう思うと回答した。

##### 博士課程（医学専攻）

博士課程の32名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）87%がそう思う（＝「大いにそう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問13）81%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問14）77%がそう思うと回答、「大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療に有用か」（質問15）90%がそう思うと回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

まず、「大学院入学の目的は達成できたか」、「大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療に有用か、今後の研究活動、実践に有用か」といったことに対して、大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院医学系研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。また、博士課程（医学専攻）の「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」、修士課程（看護学専攻）の「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」についても、十分な評価が得られている。

### 【改善を要する点】

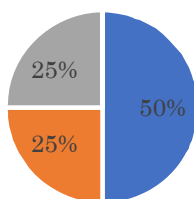
修士課程（看護学専攻）の「大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか」という点については、十分な評価が得られなかったため、改善が必要である。令和2年度から修士課程（看護学専攻）に新たに助産学コースを、また、令和4年度から看護学専攻に博士後期課程を設置した。令和5年度から博士前期課程（看護学専攻）に新たに公衆衛生看護学コースの設置に向けて準備を進め、主体とする目的ごとに設置したコースで教育を行うこととしている。

修士課程（臨床心理学専攻）の「大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか」、という点については、十分な評価が得られなかったため、改善が必要である。ただし、学科の完成年度後初めての卒業生が令和4年度から入学しており、学部から大学院への連続性のある6年教育の評価は今後得られると期待している。

【参考資料】

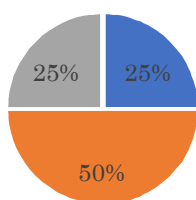
修士課程(看護学専攻)

問12全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



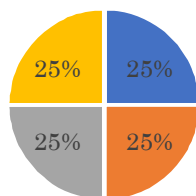
■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問13大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



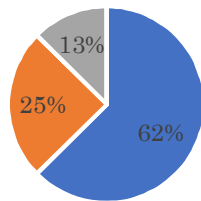
■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



■ 大いに思う ■ やや思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

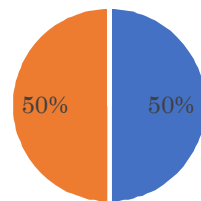
問16大学院（修士課程）で身につけた  
考え方、知識が、今後の研究活動、実  
践に有用ですか。



■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

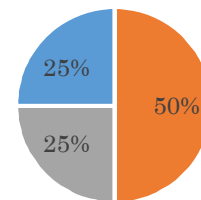
#### 修士課程(臨床心理学専攻)

問12全体として、大学院入学の目的は  
達成できましたか。



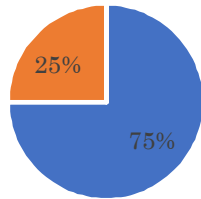
■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求  
められた時、積極的に勧めたいです  
か。



■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

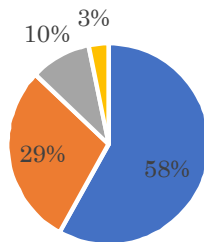
問17大学院（修士課程）で身につけた  
考え方、知識が、今後の研究活動、実  
践に有用ですか。



■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

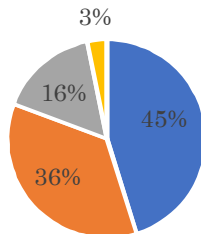
#### 博士課程

問12全体として、大学院入学の目的は  
達成できましたか。



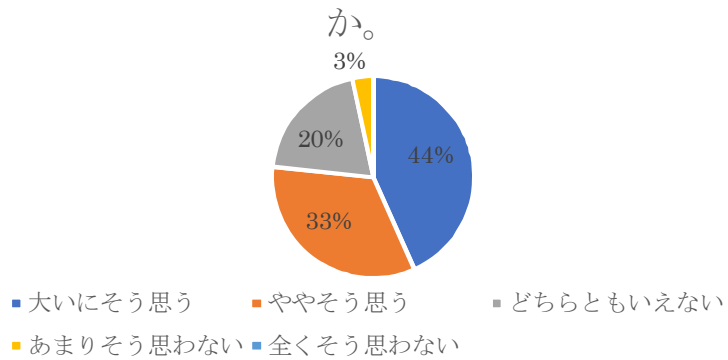
■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問13大学院での教育・研究において、  
就労への配慮は十分でしたか。

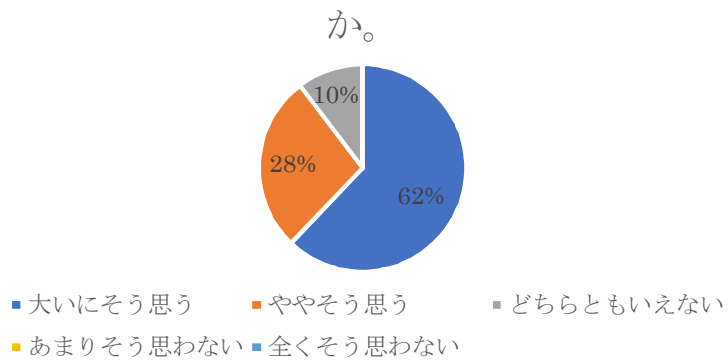


■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



問15大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。



## 工学研究科・博士前期課程

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年2月2日 ～ 令和4年2月4日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

2021年度末修了予定の工学研究科の学生(回答者:85名)を対象に、[Ⅰ. 研究について](質問13から質問17)、[Ⅱ. 教育について](質問18から質問23)、[Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など](質問24から質問26)、[Ⅳ. 進路について](質問27から質問31)、[Ⅴ. その他](質問32から質問35)について調査した。特に、ここでは、[Ⅰ. 研究について]と[Ⅱ. 教育について]の分析を概説する。

[Ⅰ. 研究について] 研究活動に充実感を感じている(質問13)、指導教員のサポートや研究設備が充実している(質問14、15)、TAを肯定的に捉えている(質問16)、大学院での学習・生活習慣で日常的にインターネットを利用(質問17)などの特徴があった。

[Ⅱ. 教育について] 専門分野に関する知識・理解、問題解決・課題探求能力は大学院の学習、研究活動で修得できているが、社会問題への理解への展開がややできていない(質問18)、大学院での知識やスキルが将来の職業生活に役立ち、よりよい条件の職業に就ける(質問19)、将来の自身の進路を検討して講義を選択(質問20)、自学自習時間は3時間未満が約70%、研究時間は4時間以上が約65%と研究重視(質問21、22)などの特徴があった。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

指導教員のサポート(質問14)について、「やや充実していた」を含め93%が指導教員のサポートに充実感を感じ、学生への研究指導がうまく行われていると判断される。また、同様に成績評価(質問26)も95%の高い信頼性で受け入れられている。大学院での学習の意味づけ(質問19)について、89%が大学院での学習が将来の職業生活に役立つと考え、90%が条件のよい職業に就くことができると考え、大学院での学習が高く評価されている。

##### 【改善を要する点】

研究設備(質問15)がとても充実していたとする評価は信頼性情報システム工学専攻と知能機械システム工学専攻では60%近いが、安全システム建設工学専攻と材料創造工学専攻では30%台と低い。大学院での能力の修得(質問18)について「英語の力(DP:言語運用能力)」は約50%にとどまったままである。英語力を向上させるための教育指導に注力しなければならない。修了後の進路(質問28)について、まだわからないが8%(7人)存在した。これを抽出して、修了後の進路を決め行動開始した時期(質問29)の分析を行うと、5人は2年生になって以降だった。漏れなく早期からの進路指導を徹底する必要がある。

【参考資料】

アンケート項目「質問 14. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。」について

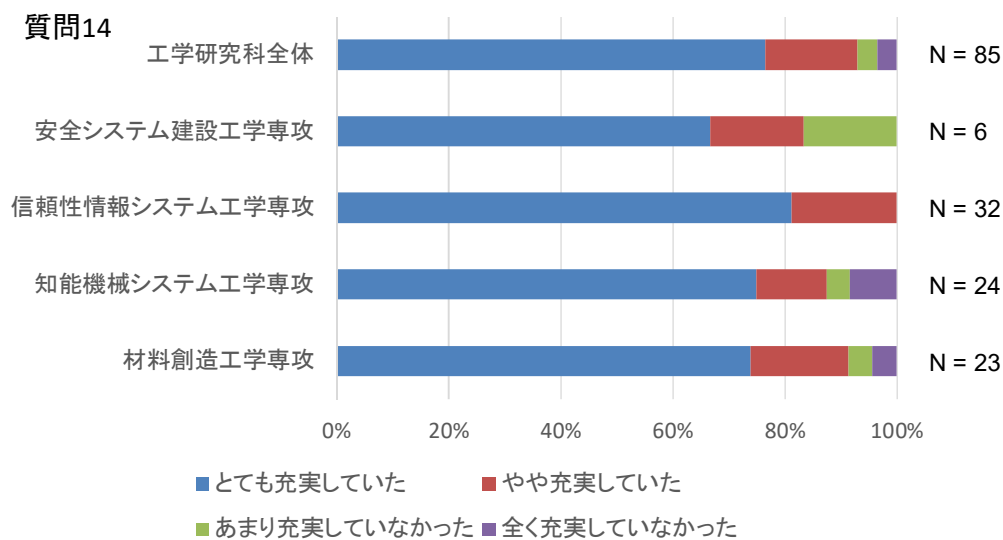


図1 アンケート項目「質問 14」への回答の分布

アンケート項目「質問 15. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。」について

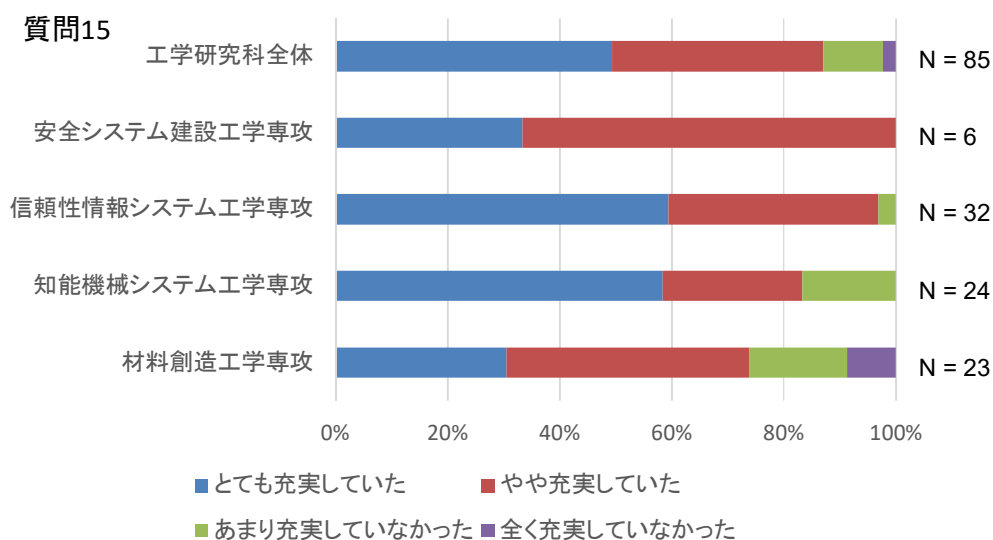


図2 アンケート項目「質問 15」への回答の分布



アンケート項目「質問 18. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。」について

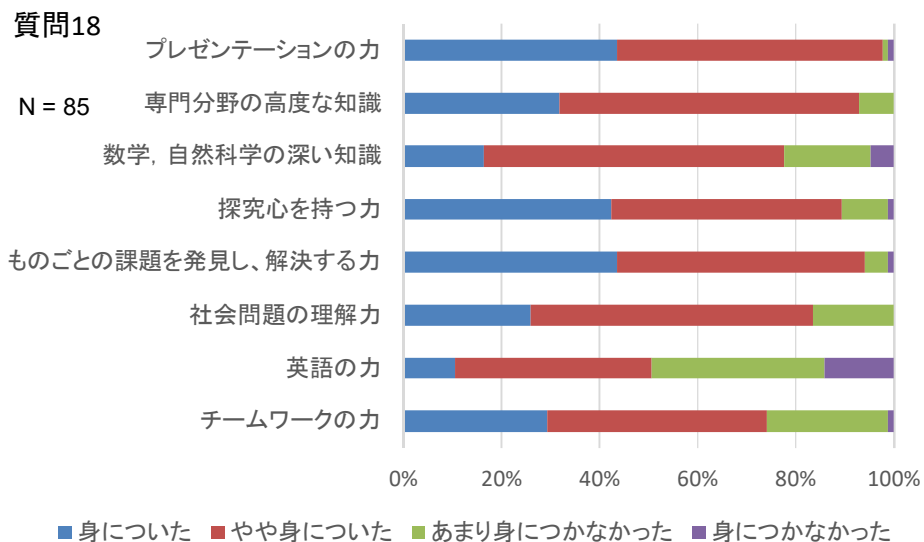


図 3 アンケート項目「質問 18」への回答の分布

アンケート項目「質問 19. あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。」について

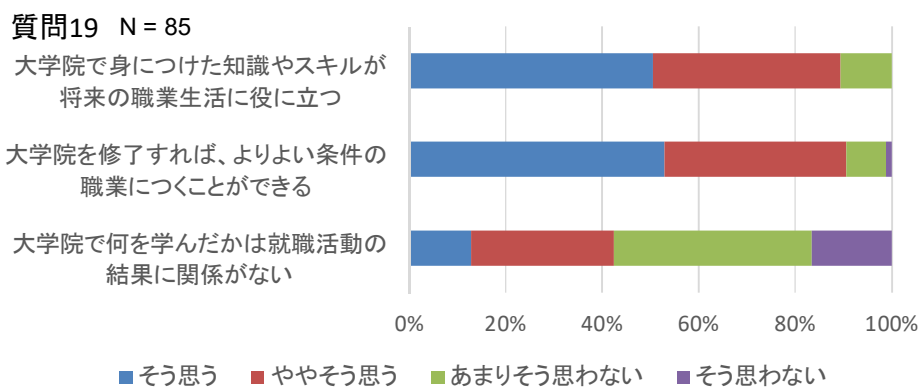


図 4 アンケート項目「質問 19」への回答の分布

アンケート項目「質問 21. 1日の平均自学自習時間」について

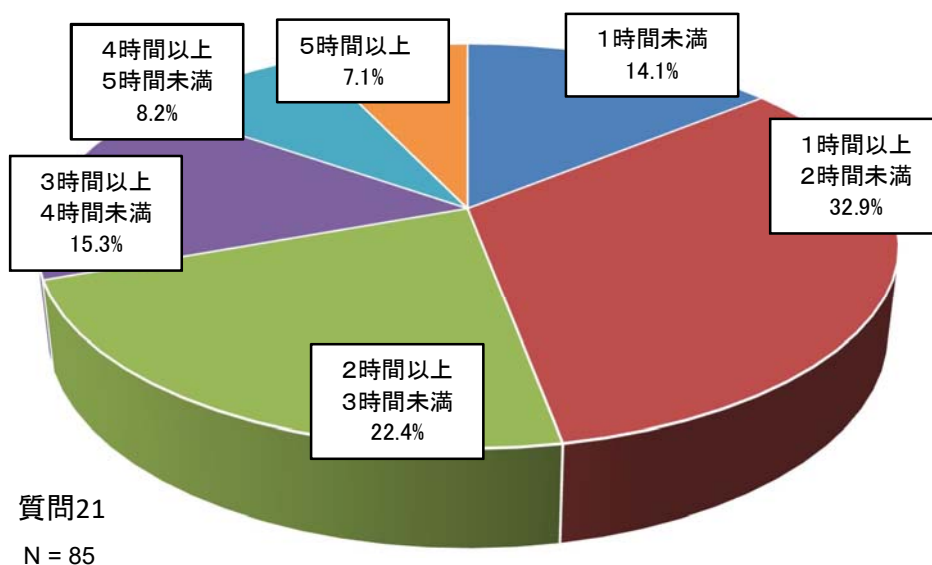


図5 アンケート項目「質問 21」への回答の分布

アンケート項目「質問 22. 1日の平均研究時間」について

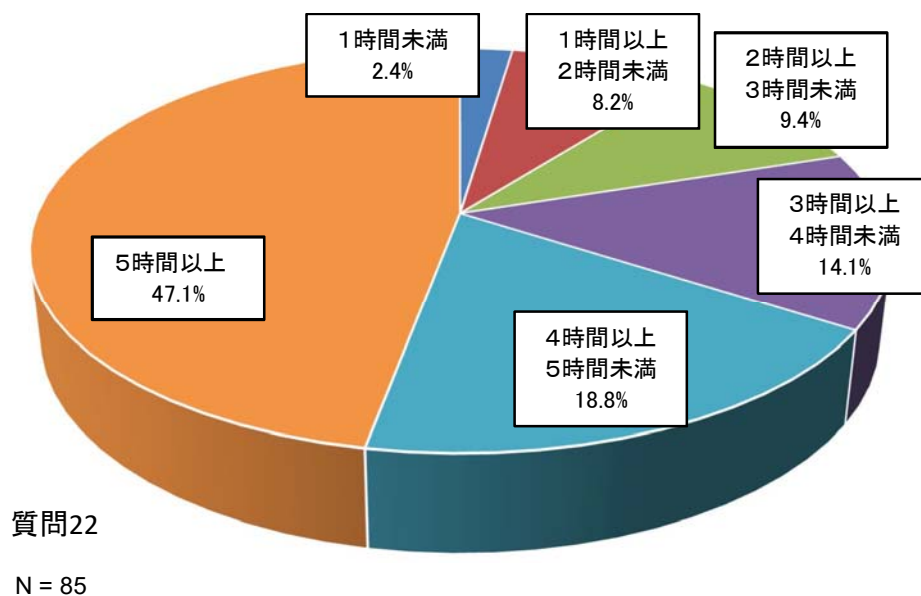


図6 アンケート項目「質問 22」への回答の分布

アンケート項目「質問 28. あなたは修了後どのような進路に進みますか。」について

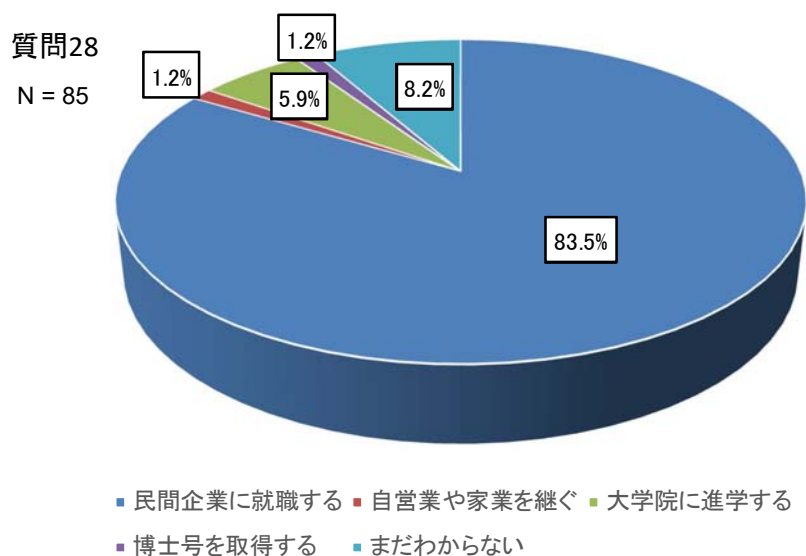


図 7 アンケート項目「質問 28」への回答の分布

質問 28 で「まだわからない」が 7 名存在することが明らかとなったため、この 7 名に対して質問 29 の分析を実施した。

アンケート項目「質問 29. あなたは、修了後の進路を決定し、行動を始めたのはいつですか。」について

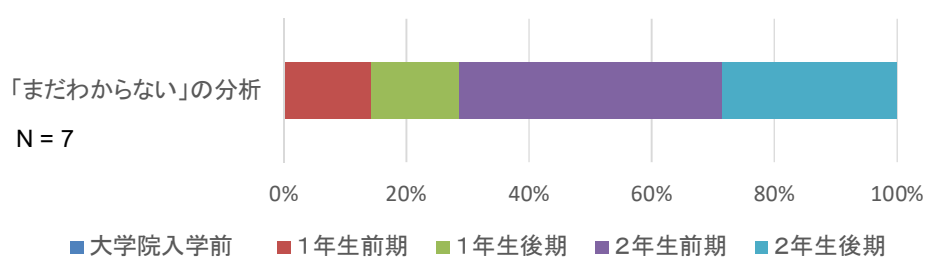


図 8 「質問 28」でまだわからないとした者について「質問 29」への回答の分布

## 工学研究科・博士後期課程

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年1月26日 ～ 令和4年2月28日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

R4年度末修了予定の工学研究科博士後期課程学生（回答者：9名）を対象に、次のⅠ～Ⅴに関するアンケートを実施した。

【Ⅰ. 研究（指導、設備等）について】（項目13から項目15）

【Ⅱ. 教育（TA、学習、インターンシップ）について】（項目16から項目23）

【Ⅲ. 授業（シラバス、成績評価、単位認定等）について】（項目24から項目26）

【Ⅳ. 進路（経済的問題、決め方、情報等）について】（項目27から項目31）

【Ⅴ. 学生生活（犯罪、被害、保護者の意見等）について】（項目32から項目35）

ここでは、【Ⅰ. 研究】と【Ⅱ. 教育】の分析を概説する。

【Ⅰ. 研究（指導、設備等）について】 研究活動にとっても充実感を感じている学生が87.5%（項目13）。指導教員のサポート（項目14）は学生全員が充分であると考えている。さらに、研究設備の充実度（項目15）について87.5%の学生が満足している。

【Ⅱ. 教育（TA、学習、インターンシップ）について】 TAの講義サポートを75.0%の学生が非常に良いと思っている。図書館を日常的に活用する学生は少なく、12.5%の学生のみが日常的に利用している。専門分野に関する知識・理解、問題解決・課題探求能力は大学院の学習、研究活動で修得されている（項目18）。大学院での学習が将来の職業生活に役立つと考え（項目19）、さらに将来の自身の進路を検討して講義を選択（項目20）し、自学自習時間（項目21）と研究時間（項目22）を割合長く取る特徴がある。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

- ・研究活動、指導教員の支援、研究設備の充実度に満足している（項目13、14、15）。
- ・学会活動に学生会員として携わり、教育、研究の両面から有益となっている。（項目17-8）。
- ・プレゼンテーション力、専門知識、探求心、課題解決能力、社会問題理解力が身に付き、向上したと自覚している（項目18-1、18-2、18-4、18-5、18-6）。

##### 【改善を要する点】

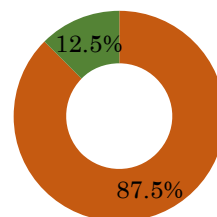
- ・TA雇用における学生と教員間の連携、情報交換の改善が必要である（項目16）。
- ・図書館の利用率が極めて低い現状を改善する必要がある。（項目17-1）。
- ・ボランティア活動を行う学生割合が低く、関心・興味がない傾向にある（項目17-7）。
- ・英語が身についたと思う学生を増やすために、創意工夫が必要である（項目18-7）。

【参考資料】

**項目 13 「あなたの研究活動は充実していましたか。」**

この質問は、研究活動における学生の充実感を知るために設定されている。

「とても充実していた」学生は 87.5%、「やや充実していた」学生が 12.5%である。よって、「とても充実していた」と「やや充実していた」を合わせると 100.0%の学生が研究活動は充実し、満足していたことがわかる。



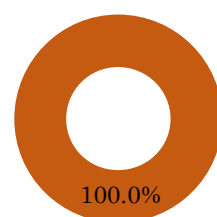
■ とても充実していた  
■ やや充実していた

**項目 13 の回答分布**

**項目 14 「あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。」**

この質問は、学生が研究を進めるにあたり、指導教員の支援に対する充実度を知るために設定されている。

「とても充実していた」学生が 100.0%である。指導教員の支援に対して十分に満足していることが伺える。



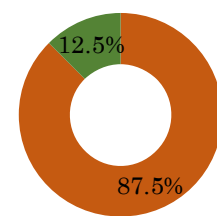
■ とても充実していた

**項目 14 の回答分布**

**項目 15 「あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。」**

この質問は、学生が研究を進めるにあたり、大学や研究室の研究設備の充実度を知るために設定されている。

「とても充実していた」学生が 87.5%、「やや充実していた」学生が 12.5%である。よって、「とても充実していた」と「やや充実していた」を合わせると 100.0%の学生が研究設備は充実し、満足していることがわかる。



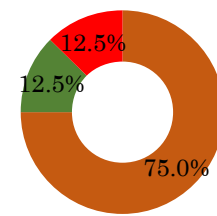
■ とても充実していた  
■ やや充実していた

**項目 15 の回答分布**

**項目 16 「あなたは、TA で大学院生が講義をサポートすることをどのように考えていますか。」**

この質問は、TA の意義を学生がどのように認識しているか知るために設定されている。

「よくない」と回答した学生が 12.5%おり、TA が学生の負担となっていることが想像される。



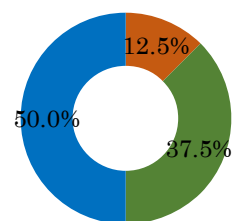
■ 非常によい  
■ どちらかと言えばよい  
■ よくない

**項目 16 の回答分布**

**項目 17 「あなたの大学院での学習・生活習慣について、  
あてはまる番号を選択してください。」**

**■17-1 図書館を利用する：**

「日常的に利用する」学生が 12.5%、「たまに利用した」学生が 37.5%である。これより、学生の半数が図書館を適宜利用している。また、「あまり利用しなかった」学生が 50.0%である。今後、図書館の充実化をさらに図ると共に、学生への図書館利用や図書館にある書籍の紹介等のアナウンスを積極的に行うことが望まれる。博士後期課程学生の図書館利用率が非常に思わしくない現状が浮き彫りになったと言える。

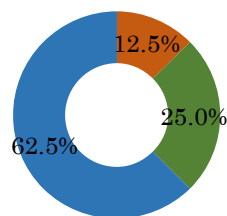


■ 日常的にした  
■ たまにした  
■ あまりしなかった

**項目 17-1 の回答分布**

**■17-7 ボランティア活動を行う：**

「日常的に活動する」学生は 12.5%、「たまに活動した」学生は 25.0%である。従って、37.5%の学生のみが何かしらのボランティア活動に携わっただけである。さらに、「あまり活動をしなかった」学生は 62.5%である。よって、学生全体として、ボランティア活動に関心が無いことがわかる。今後は、社会におけるボランティア活動をより積極的に捉えるための指導や教育が必要である。

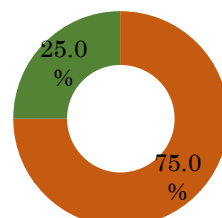


■ 日常的にした  
■ たまにした  
■ あまりしなかった

**項目 17-7 の回答分布**

**■17-8 学会活動を行う：**

「日常的に活動する」学生は 75.0%、「たまに活動した」学生は 25.0%である。よって、全学生が何かしらの学会活動に携わり、研究活動を行っていることが読み取れる。



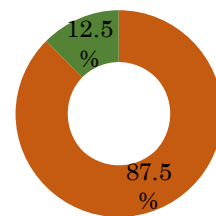
■ 日常的にした  
■ たまにした

**項目 17-8 の回答分布**

**項目 18 「あなたは、大学院博士後期課程で学んで、以下  
に示す能力が身についたと思いますか。」**

**■18-1 プレゼンテーションの力：**

「身についた」学生が 87.5%、「やや身についた」学生が 12.5%である。これから、全学生が博士後期課程に入学し、プレゼンテーション能力の向上を自覚している。

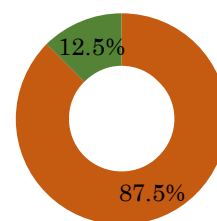


■ 身についた  
■ やや身についた

**項目 18-1 の回答分布**

#### ■18-2 専門分野の高度な知識：

「身についた」学生が 87.5%、「やや身についた」学生が 12.5%である。両方を合わせると 100.0%となり、全学生が専門分野の高度な知識を身につけた自覚をしている。

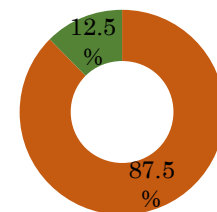


■ 身についた  
■ やや身についた

項目 18-2 の回答分布

#### ■18-4 探究心を持つ力：

「身についた」学生が 87.5%、「やや身についた」学生が 12.5%である。これらを合わせると 100.0%となり、全学生が博士後期課程に入学し、探求力を持つ力の向上を自覚している。

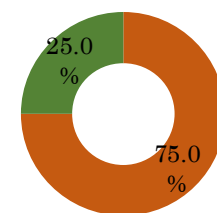


■ 身についた  
■ やや身についた

項目 18-4 の回答分布

#### ■18-5 ものごとの課題を発見し、解決する力：

「身についた」学生が 75.0%、「やや身についた」学生が 25.0%である。これらを合わせると 100.0%となり、全学生が博士後期課程に入学し、課題発見かつ解決力の向上を自覚している。しかしながら、「身についた」学生が 8 割を切っており、低い数値と言える。

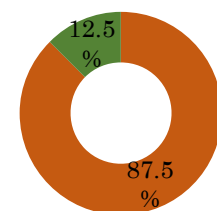


■ 身についた  
■ やや身についた

項目 18-5 の回答分布

#### ■18-6 社会問題の理解力：

「身についた」学生が 87.5%、「やや身についた」学生が 12.5%である。これらを合わせると 100.0%となり、全学生が博士後期課程に入学し、社会問題の理解力の向上を自覚している。

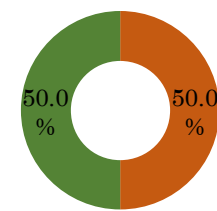


■ 身についた  
■ やや身についた

項目 18-6 の回答分布

#### ■18-7 英語の力：

「身についた」学生が 50.0%、「やや身についた」学生が 50.0%である。これらを合わせると 100.0%となり、全学生が入学後、英語力向上を自覚している。しかしながら、「身についた」と回答した学生数が半数と低い数値であり、十分とは言えない。



■ 身についた  
■ やや身についた

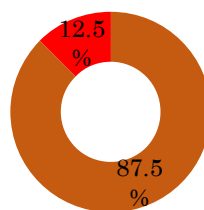
項目 18-7 の回答分布

項目 19 「あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。」

■19-1 大学院で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役に立つ：

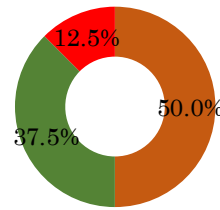
■19-2 大学院を修了すれば、よりよい条件の職業につくことができる：

■19-3 大学院で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない：



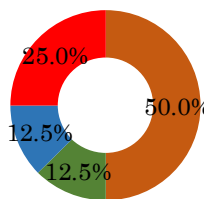
■ そう思う  
■ そう思わない

項目 19-1 の回答分布



■ そう思う  
■ ややそう思う  
■ そう思わない

項目 19-2 の回答分布

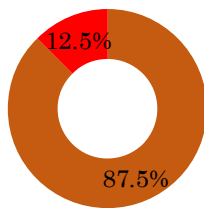


■ そう思う  
■ ややそう思う  
■ あまりそう思わない  
■ そう思わない

項目 19-3 の回答分布

項目 20 「あなたは、履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか。」

12.5%の学生は履修登録と進路を結びつけておらず、どのような理由からそのような履修登録を行っているのか、調査する必要がある。

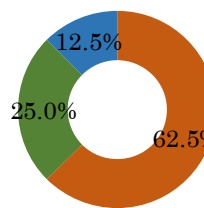


■ 非常にまじめに検討した  
■ 全く検討しなかった

項目 20 の回答分布

項目 21 「1日に平均してどのくらい自学・自習（予習・復習・レポート作成等）しましたか。」

ほとんどの学生が1日平均して4時間以上を自学・自習のために時間を割き、かつ5時間以上割く学生の割合が非常に多い。

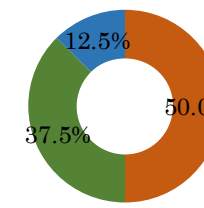


■ 5時間以上  
■ 4時間以上5時間未満  
■ 2時間以上3時間未満

項目 21 の回答分布

項目 22 「1日に平均してどのくらい研究（実験・解析・ディスカッション・レポート作成等）しましたか。」

ほとんどの学生が1日平均して4時間以上を研究活動のために時間を割き、その中でも5時間以上割く学生の割合が全体の半数である。



■ 5時間以上  
■ 4時間以上5時間未満  
■ 2時間以上3時間未満

項目 22 の回答分布



## 農学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年2月8日 ～ 令和4年3月18日

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

調査対象者は、令和3年3月修了の回答者30名（修了生55名）、令和4年3月修了の回答者23名（修了生37名）

#### （1）分析結果

農学研究科独自項目では、図1の1～12の項目について、その修得および能力の向上に研究科の教育・研究は有用だったかという質問を行った。令和2年度と令和3年度の調査に明確な差異はなかったが、令和2年度は、「10：日本語によるプレゼンテーション能力」について93%が有用であった（「大いにそう思う」＋「そう思う」の合計）と回答し、最も高い値を示した。令和3年度は、「5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力」について91%が有用であったと回答し、最も高い値を示した。また、「1：研究開発マインドの習得」、「3：自ら立案する課題設定能力」、「4：課題を解決するために必要な情報の収集能力」、「6：得られた結果に基づいた解析能力」、「7：課題の全容を論理的に取りまとめる能力」、「8：日本語によるコミュニケーション能力」については両年度共に70%以上が有用であったと回答した。

図2の農学研究科の専門教育1～6の科目についてどの程度充実していたかという質問を行った結果、令和2年度と令和3年度の調査共に、ほとんどの科目について70%以上が充実していた（「充実していた」＋「ある程度充実していた」の合計）と回答した。しかし、令和3年度の「希少糖共通科目」のみが61%と比較的に低い値を示した。

#### （2）優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

農学研究科独自項目では「5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力」、「10：日本語によるプレゼンテーション能力」の取得および能力の向上について評価が高かった。農学研究科ディプロマポリシーの「専門知識・理解」、「研究能力・応用力」については両年度の修了生から十分な評価が得られていると言える。科目の評価については、ほとんどの科目で充実度が高く、十分な評価が得られている。

##### 【改善を要する点】

両年度共に、「9：英語によるコミュニケーション能力」、「11：英語によるプレゼンテーション能力」については、「どちらともいえない」という回答が多い。研究室内セミナーで行われる英語論文の読解や国際会議の発表練習などで英語の活用が進められたが、これをさらに継続して実施することが求められる。また、海外留学制度の積極的な活用を進めていく。

【参考資料】

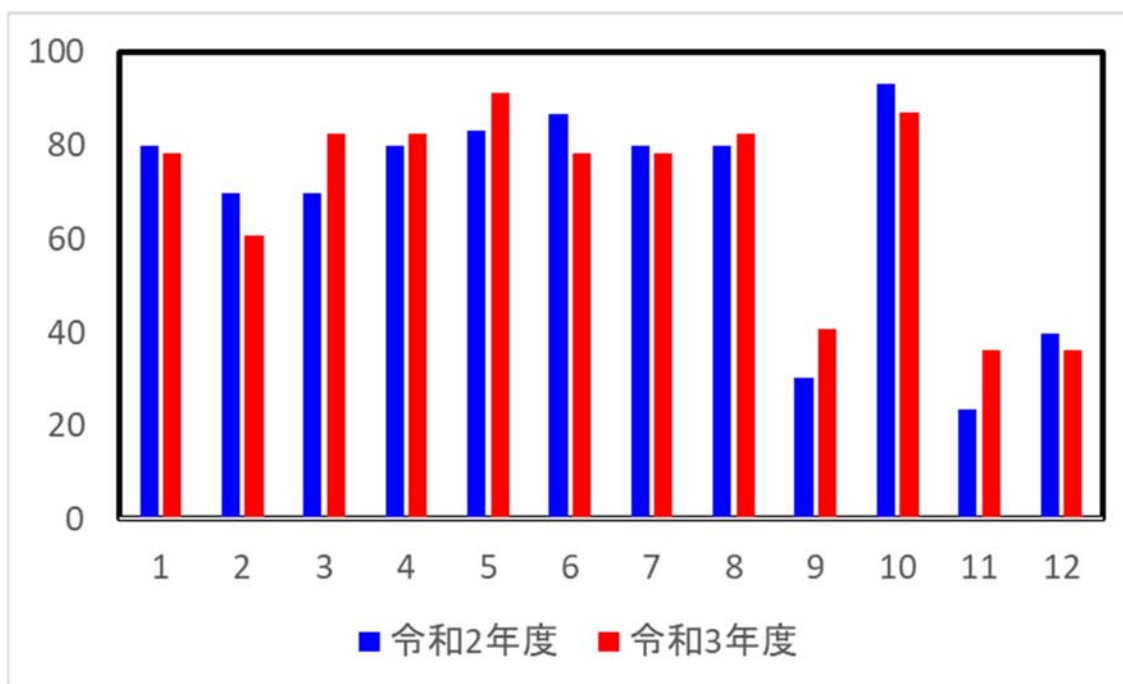
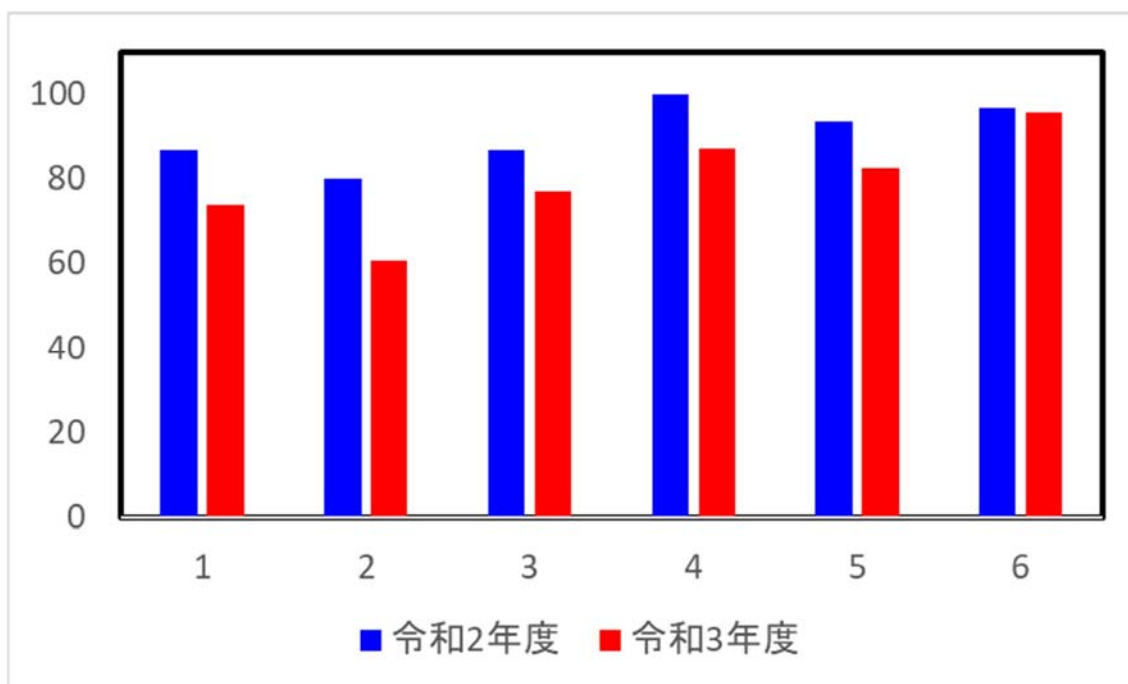


図1 農学研究科の教育・研究は、1～12に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

「1: 研究開発マインドの習得」、「2: 高度専門職業人となるための幅広い知識の習得」、「3: 自ら立案する課題設定能力」、「4: 課題を解決するために必要な情報の収集能力」、「5: 課題を解決するための手法の探索と遂行能力」、「6: 得られた結果に基づいた解析能力」、「7: 課題の全容を論理的に取りまとめる能力」、「8: 日本語によるコミュニケーション能力」、「9: 英語によるコミュニケーション能力」、「10: 日本語によるプレゼンテーション能力」、「11: 英語によるプレゼンテーション能力」、「12: グローバルマインドの習得」。

注2) グラフは「大いにそう思う」+「そう思う」の合計値を示している。



**図2 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか。**

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1: 基礎科目 (科学研究リテラシー、ベーシック国際研究コミュニケーション、応用生物学クロストークセミナー)、2: 希少糖共通科目 (希少糖イノベーション、希少糖植物化学特論、希少糖応用生命科学特論、希少糖食品科学特論)、3: 展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー、国際研究実践コミュニケーション、修士・修士国際インターンシップ、アドバンスド国際研究コミュニケーション)、4: 専門科目 (〇〇特論など)、5: 専門科目 (専攻セミナーⅠ～Ⅲ)、6: 研究科目 (修士研究Ⅰ～Ⅳ、修士論文)。

注2) グラフは「充実していた」+「ある程度充実していた」の合計値を示している。

## 地域マネジメント研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和4年3月16日 ～ 令和4年3月24日

調査対象 令和3年度修了生34人（回答数30人、回収率88.2%）

調査内容・方法 質問は、各部局共通の項目に加えて、在学当時の状況や支援、修了時の効果、現在の状況、香川大学・本研究科への要望、回答者属性に関する項目からなる。調査はMicrosoft Formsを用いて行なった。

\*\*\*\*\*

### 1. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

修了生の在籍時修学状況は概ね良いと言える。回答者の9割弱が就業している中、授業への出席率90%以上が9割以上を占め、週当たり授業時間外勉強時間は平均約18時間である。学校の環境では「教室」「自習室」への満足度は概ね高いが、「(ある程度)満足している」とする割合は自習室の方が教室よりも16.6%低い。土曜日開講については、「必要(「ある程度必要」を含む)」とする割合が9割以上を占めている。「大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか」については肯定的な回答が96.6%を占める。

オンラインでの受講状況は、「授業は主に対面」13.3%、「授業は主に対面、事情に応じてオンライン」63.3%、「授業は主にオンライン」3.3%、「授業は主にオンライン、事情に応じて対面」16.7%で、「問題なくオンラインで受講できた」「オンラインの授業におおかた満足している」と思っている回答者の割合は8~9割程度を占めている。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

本研究科は、修了要件である2年次プロジェクト科目を複数指導体制（学生複数名を複数教員で指導）で実施しているが、当該科目について「(ある程度)満足している」とする回答者が86.6%となっている。また、入学後における地域や社会への関心が高まったとする回答が86.7%、人的なネットワークの構築ができたとする回答が86.7%と高く、総合的な満足度では「(ある程度)満足している」とする回答が100%である。

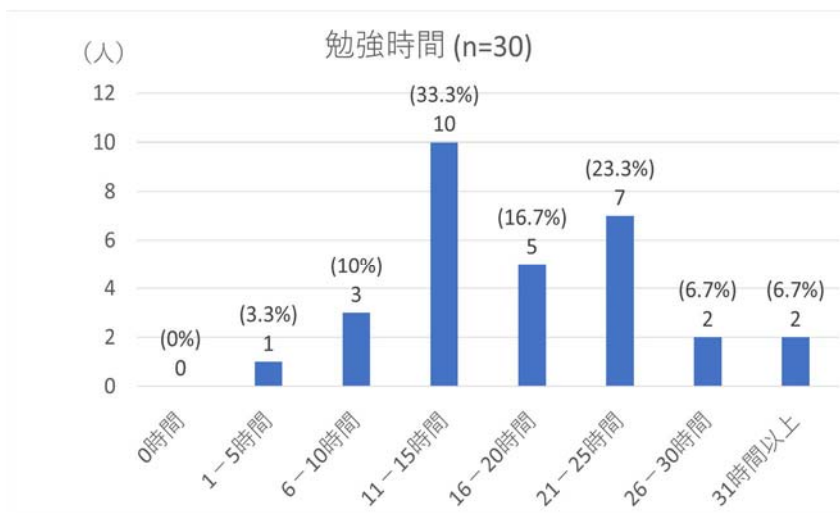
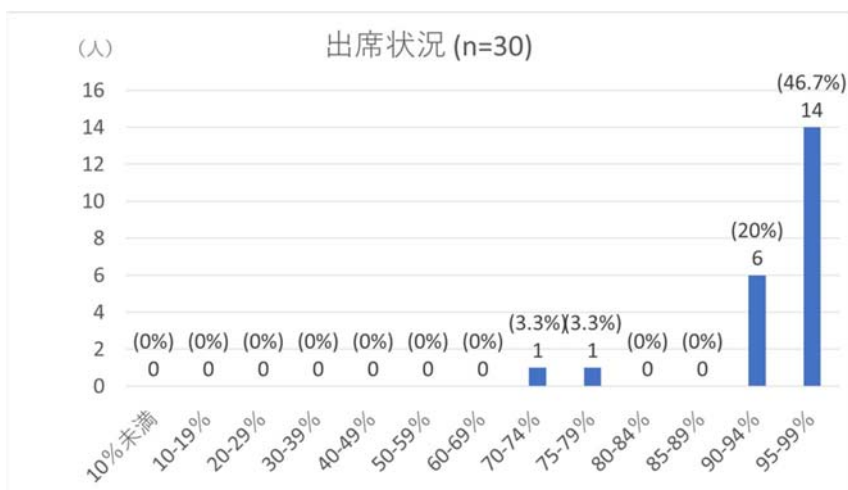
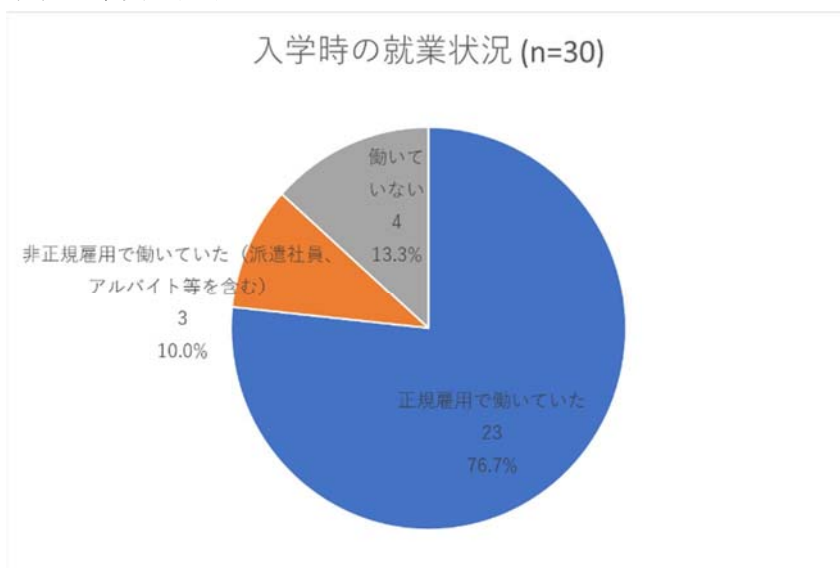
##### 【改善を要する点】

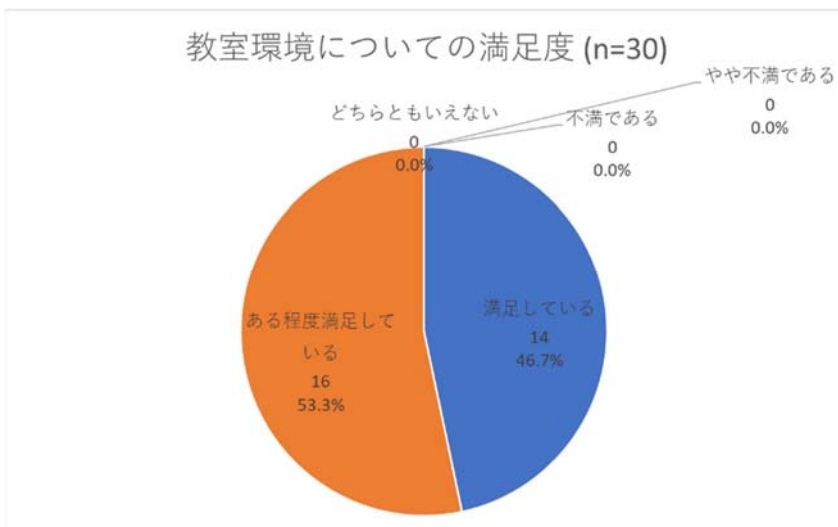
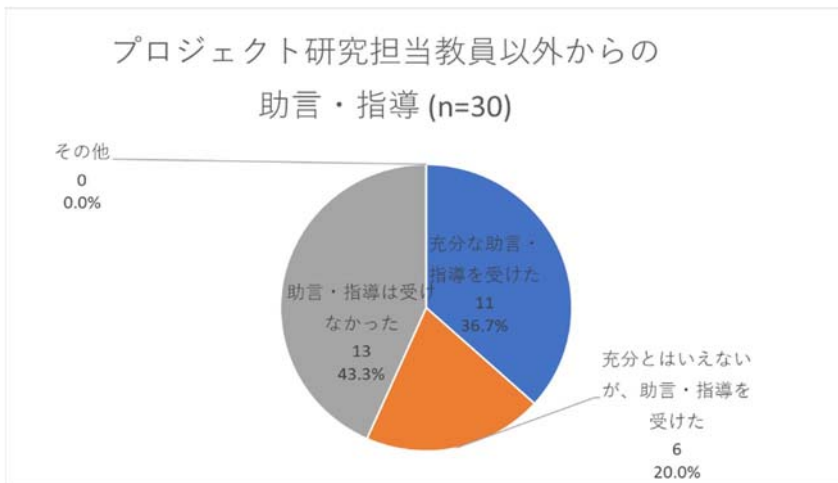
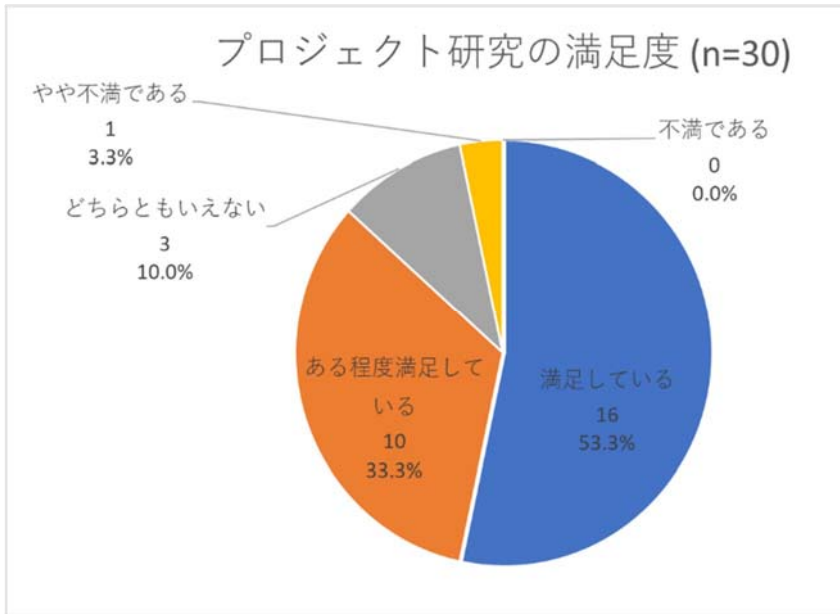
プロジェクト研究の担当教員以外からの「助言・指導を受けなかった」という回答者が43.3%であり、この割合自体が問題ではないが、自由記述には「担当教員以外には聞きづらい」「先生も、お忙しいのであろうと思うと気が引けてしまった」のようなものが一部見られ、担当教員以外にも助言・指導を受けられる環境づくりをさらに進める必要がある。

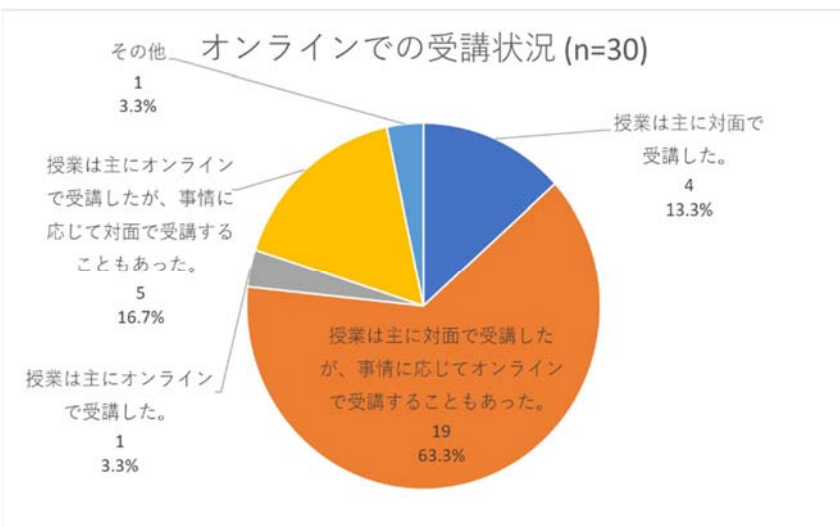
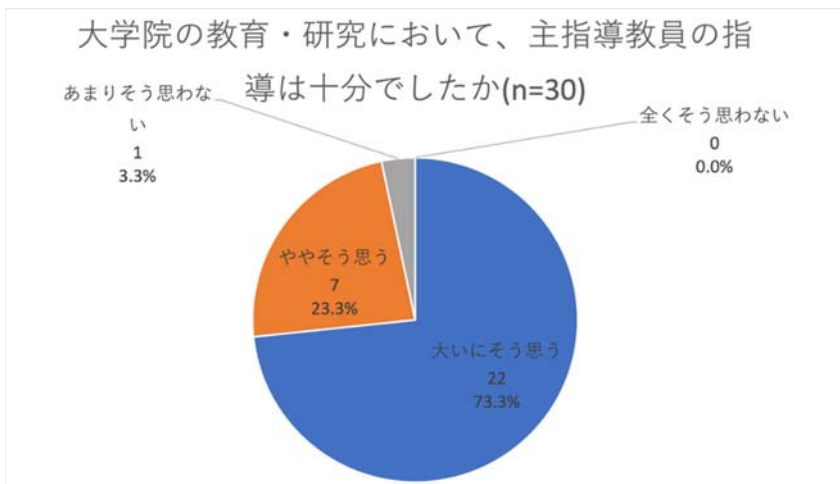
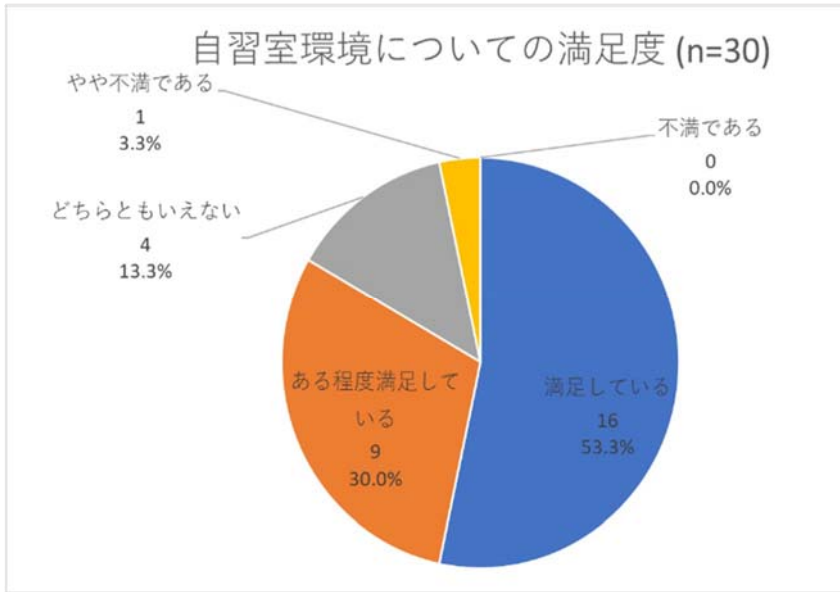
また、回答者が「現在の仕事に必要な能力」と認識する程度が高い能力のいくつかにおいて、大学院で身につけたと回答する割合が低いものが存在する（「現在の仕事に必要な能力（平均値）-大学院で身につけた能力（平均値）」が大きい能力）。FDにおいて共有するとともに、今後の教育課程についての検討が求められる。

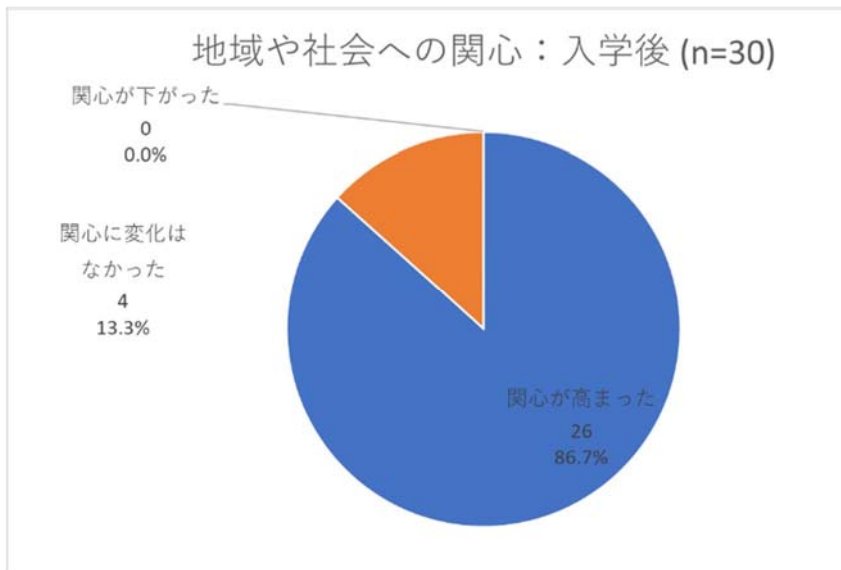
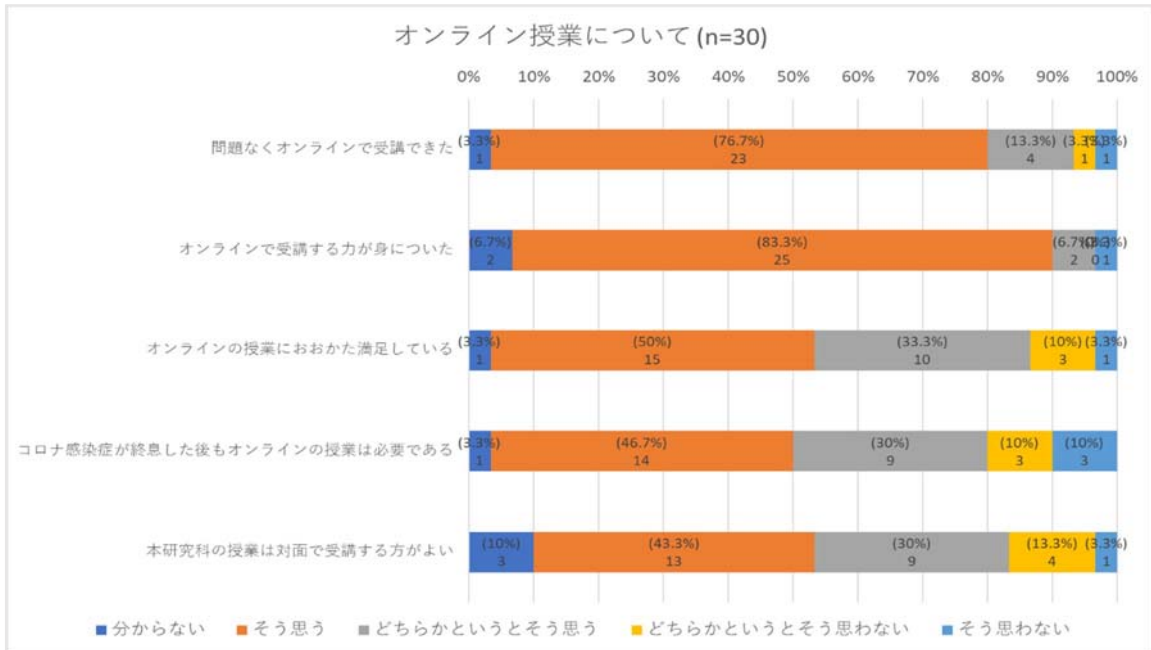
【参考資料】

令和3年度 修了生アンケート グラフ

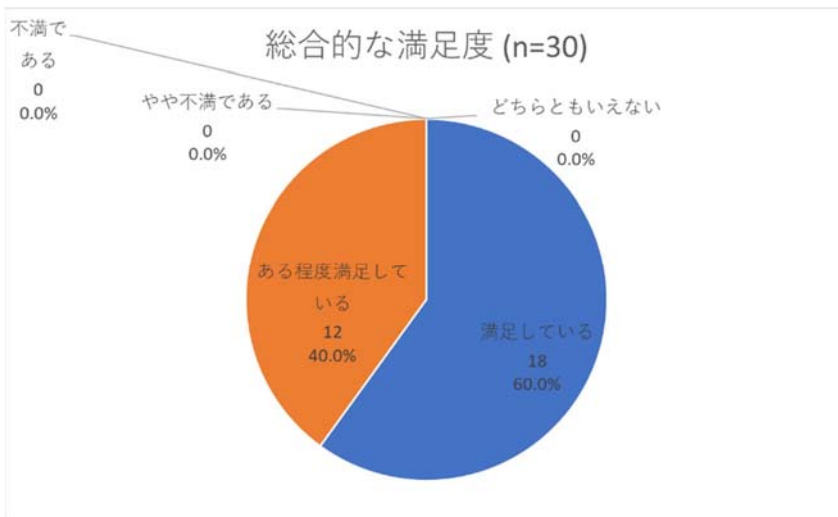
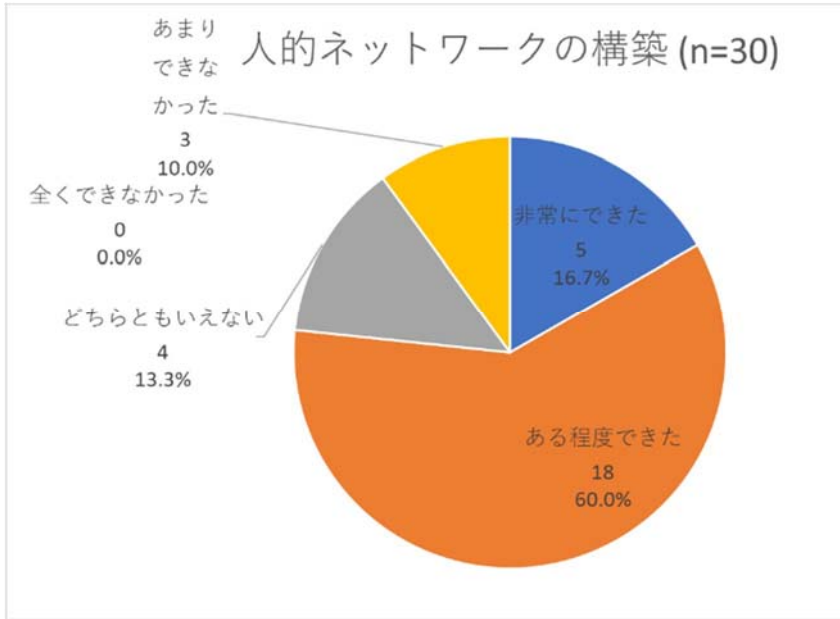




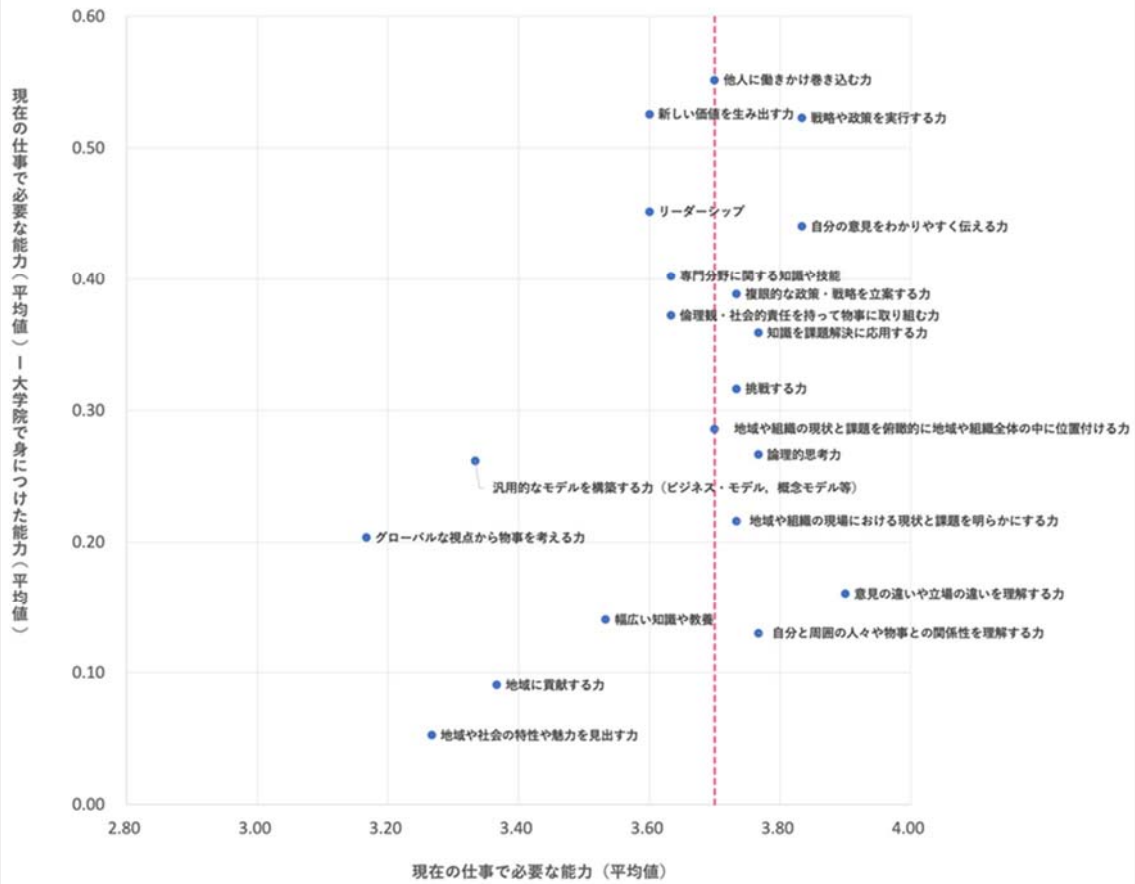








## 現在の仕事に必要な能力と平均値の差



(注) 破線は中央値を表す。